LinkStation™

HD-HGLAN シリーズ

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク............ ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク........ 次のページへ続く に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C：ハードディスク　　　D：CD-ROM ドライブ
・本書では、Microsoft 社 Windows Millennium Edition を WindowsMe と表記しています。
・本書では、Microsoft 社 Windows98 Second Edition を Windows98SE と表記しています。
・本書では原則として HD-HGLAN シリーズを LinkStation と表記しています。

目 次

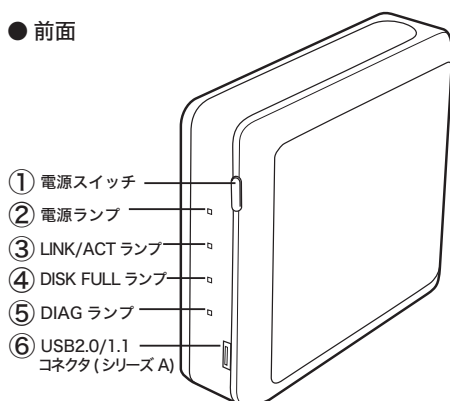
1 はじめに

LinkStation を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

- 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ポートを搭載し、LAN に接続された複数台のパソコン (Macintosh にも対応) からアクセスが可能です。※ 1000BASE-T は全二重のみの対応です。
- LinkStation の共有フォルダごとにアクセス制限が可能です。
- LinkStation に 30 分アクセスがないときは、自動的に LinkStation 内のハードディスクの回転を停止します。アクセスがあれば自動的に回転を開始します。
- 前面および背面に USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A) を搭載しています。
  USB コネクタには、外付けハードディスクを増設して LinkStation の共有フォルダを増やしたり、プリンタを接続してネットワークプリンタとして使用することができます。

各部の名称

- 前面

付属品の確認は別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

メモ LinkStation 前面には、保護シートが貼り付けられています。はがしてお使いください。

①電源スイッチ

電源 ON：電源スイッチを押します。
電源 OFF：電源スイッチを 3 秒間押し続けます。

②電源ランプ

電源 ON：緑色に点灯
電源 OFF：消灯
起動中 / 終了中：緑色に点滅
スリープ設定中：緑色にゆるやかに点滅

③ LINK/ACT ランプ

青色に点灯 / 点滅：1000Mbps リンク時 / アクセス時
緑色に点灯 / 点滅：100Mbps リンク時 / アクセス時
赤色に点灯 / 点滅：10Mbps リンク時 / アクセス時

④ DISK FULL ランプ

ハードディスクの空容量が全容量の 10% 以下になったとき、赤色に点灯します。
ハードディスクフォーマット、チェック中に赤色に点滅します。

⑤ DIAG ランプ

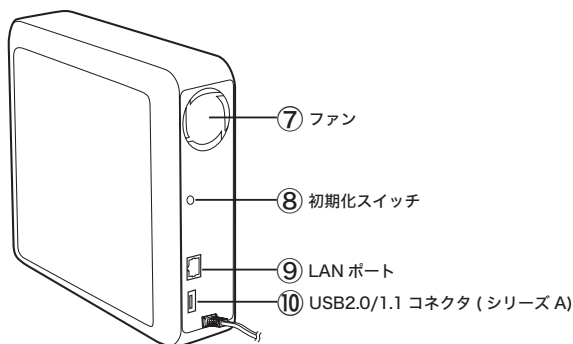
エラーが発生したとき赤色に点滅します。【P79】

メモ 初期化時、ファームウェアアップデート時は、電源ランプ、DISK FULL ランプ、DIAG ランプが点滅します。

⑥USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A)

USB 接続外付けハードディスクやプリンタを LinkStation に増設できます。
※ ハードディスク、プリンタ以外の USB 機器 (USB ハブなど) の接続には対応しておりません。

次のページへ続く

● 背面

⑦ファン

ファンを塞ぐような設置はしないでください。

⑧初期化スイッチ

LinkStation 動作時 (電源ランプ点灯) に、ボールペンの先などで 3 秒間押し続けると、本製品の設定内容が出荷時設定に変更されます。

⑨ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

⑩ USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A)

USB 接続外付けハードディスクやプリンタを LinkStation に増設できます。
※ハードディスク、プリンタ以外の USB 機器 (USB ハブなど) の接続には対応しておりません。

制限事項

メモ ここに記載の制限事項は、LinkStation のファームウェアが最新版であることを前提にしています。最新のファームウェアは、弊社ホームページからダウンロードすることができます。

●Windows98SE/98/95、Mac OS(AppleTalk 接続時) では、OS の制限によって 2GB 以上のファイルをコピーすることはできません。

●LinkStation に追加できるユーザは最大 300 名までです。

●WindowsMe では、OS の制限によって 4GB 以上のファイルをコピーすることはできません。

●全角文字（日本語など）のフォルダやファイル名を作成するときは､120 文字以内にしてください。120 文字を越える名前のフォルダやファイルは、コピー操作ができないことがあります。

●LinkStation のフォルダやファイルに属性（隠し / 読取専用）を設定することはできません。

●LinkStation 内蔵の時計は長期間使用すると時間がずれることがあります。ずれていたときは修正してください。また時刻は NTP 機能で自動的に修正することもできます。【P42】

●共有フォルダ名とワークグループ名に漢字を使用すると、使用した文字によっては共有フォルダやワークグループが正常に表示されないことがあります。そのようなときは漢字以外の文字をお使いください。

次のページへ続く

●本製品に登録するユーザ名およびグループ名に以下の文字は使用できません。
あらかじめご了承ください。
< 登録できないユーザ名、グループ名 >
root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers

●本製品に登録する共有フォルダ名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。
< 登録できない共有フォルダ名 >
info、spool、usbdisk1、usbdisk2、lost+found、global、printers、homes、backups、lp

●共有フォルダ名、ワークグループ名およびファイル名に次の文字を使用すると、LinkStation のデータにアクセスできない、ファイル操作が正常行えないことがあります (Macintosh では正常に表示されません)。そのようなときは他の文字をお使いください。
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻¦＇＂〟∮Σ∟⊿纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈鋹曻彅丨仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰偂傔僴僘兊兤冝冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆坙坥垬埈埇﨏塚增墲夋奓奛奝奣妤妺孖寀甯寘寬尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊惞惕愠惲愑愷愰憘戓抦揵摠撝擎敎昀昕昻昉昮昞昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰橫橆橳橾櫢櫤毖氿汜沆汯泚洄涇浯涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾犱犾猤猪獷玽珉珖珣珒琇珵琦琪琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤礰礼神祥禔福禛竑竧靖竫箞精絈絜綷綠緖繒罇羡羽茁荢荿菇菶葈蒴蕓蕙蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟諸諶譓譿賰賴贒赶﨣軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗釞釭釮釤釥鈆鈐鈊鈺鉀鈼鉎鉙鉑鈹鉧銧鉷鉸鋧鋗鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤鏆鏞鏸鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻靃靍靏靑靕顗顥飯飼餧館馞驎髙髜魵魲鮏鮱鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑畩秕緇臂蘊訃躱鐓饐鷫

●Macintosh と Windows でデータを共有する場合、上記の文字をファイル名・フォルダ名に使用すると正常に表示されません (Windows ←→ Windows 間では正常に表示されます)。

●Macintosh で作成したファイル名に下記の記号が含まれると、Windows からは OS の制限により正常に表示できません。また Mac OS X(10.2 以降) では、AppleTalk を使用せずに smb を指定して接続する時に下記の記号を使用すると、ファイルをコピーできません（または正常に表示できません)。

？[ ] / ￥ = + < > ; : ” , | *

●LinkStation へのファイルコピーは、ジャーナリングファイルシステムにより保護されますが、コピー中にキャンセルしたり、コピーを途中で終了 (LAN ケーブルが抜けた、停電など) すると次の現象が発生することがあります。

・設定したデータ (LinkStation の名称、ユーザ、グループ) が消えてしまうことがあります。

・「HDD エラー」と表示され、LinkStation にアクセスできなくなることがあります。
その場合は、画面の指示に従って、「再起動 (LinkStation)」「HDD 情報の再構成」「HDD のフォーマット」の処理を行ってください。

・不完全なファイルがコピーされ、ファイルが削除できなくなることがあります。
その場合は、LinkStation を再起動してからファイルを削除し、コピー操作をもう一度行ってください。

●LinkStation のハードディスクをフォーマットしても、設定画面での [HDD 使用率] および [HDD 使用量] は 0 にはなりません。これはシステム領域として使用しているためです。

●Windows のネットワークログイン時のユーザ名、パスワードを LinkStation と同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、LinkStation のアクセス制限を設けた共有フォルダにアクセスできないことがあります。

●LinkStation にファイルをコピーしたとき、ファイルの日付情報は全て更新されることがあります (作成日時、更新アクセスなどの日付情報は保持されません)。

●ハードディスクの容量をブラウザから確認したときと、Windows のドライブのプロパティから確認したときで、値は大きく異なります。

次のページへ続く

●WindowsMe/98SE/98/95 では、OS の仕様によりファミリーログオン時にフォルダの共有ができません。ファミリーログオンではなく、Windows ネットワークログオンからログオンしてください。

●LinkStation のバックアップタイマー機能とスリープタイマー機能は同時に設定することはできません。これらの機能を使用するときはどちらか片方のみを設定ください。

●Microsoft ネットワークドメインでログオンしたとき、ドメインに登録されたユーザ名、グループ名を Macintosh ユーザのアクセス制限に使用することはできません。

●FTP クライアントソフトウェアでファイルやディレクトリの属性 (呼出 / 書込 / 実行など) を変更することはできません。読取専用にしたいときは、P59、71 に記載の手順でおこなってください。

●FTP で公開する共有フォルダを P59、71 の手順で読取専用にしても FTP クライアントソフトウェアで表示されるファイルやディレクトリの属性は書込可能になっています。実際には読取専用になっていますので書き込むことはできません。

●Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用して、LinkStation にスイッチングハブを接続する場合、Jumbo Frame 非対応のスイッチングハブは使用しないでください。使用するとデータの転送ができなくなります。【P74】

●P68 の手順で LinkStation のデータを別の LinkStation や TeraStation にバックアップするときは、バックアップ元とバックアップ先のイーサネットフレームサイズを同じ値に設定してください。【P44】イーサネットフレームサイズが異なる場合、正常にバックアップできないことがあります。また、バックアップ先に指定できる製品は HD-HGLAN/HS-DGL シリーズ、HD-HTGL/HS-DTGL/TS-TGL シリーズです。

●Macintosh では、拡張子を含めてファイル名が 32 文字以上のファイルを見ることができません。

●Mac OS X(10.2 以降) で AppleTalk を使用せずに smb を指定して接続する場合、全角文字（日本語など）のファイル名やフォルダ名を使用しないでください。ファイル名やフォルダ名が正常に表示されません。【P17、21】

●Macintosh からアクセスされた共有フォルダには、Macintosh 用の情報ファイルが自動生成されることがあります。これらを Windows から削除した場合、Macintosh からアクセスできなくなることがありますので削除はしないでください。

●Macintosh ユーザや FTP ユーザに対してアクセス制限を設定するときは、ユーザ単位で行ってください【P60】。グループ単位で設定すると、アクセス制限した共有フォルダにアクセスできないことがあります。

●次の条件で使用した場合、Macintosh では 2GB 以上のファイルは表示されません。
・Mac OS 8.6、Mac OS 9、Mac OS X(10.1.5 以前) を使用している
・Mac OS X(10.2 以降) で afp を指定して接続している (AppleTalk 接続)【P16、20】

●Macintosh で LinkStation のファームウェアをアップデートすることはできません。アップデートする際は、Windows 搭載パソコンにて行ってください。

●LinkStation は、AppleShareServer が指定するデフォルトゾーンに属します。ゾーンを指定することはできません。

●Mac OS X で FTP を使用するとき、Mac OS 9 以前の Mac OS や Windows と日本語のファイル / フォルダの共有はできません。日本語ファイル / フォルダの共有をしたいときは FTP ではなく、afp を指定して接続 (AppleTalk 接続) してください。【P16、20】

次のページへ続く

<< LinkStation の USB コネクタに関する制限 >>

●ハードディスクやプリンタ、「Link de 録!!」対応弊社製 USB キャプチャ BOX 以外の USB 機器 (USB ハブ、CD/DVD ドライブ、MO ドライブ、フラッシュメモリ、カードリーダ、マウス、キーボードなど) を接続して使用することはできません。

●USB 機器のホットプラグ・アンプラグには非対応です。USB ケーブルを抜き差しするときは、LinkStation の電源を OFF にしてから行ってください。

●LinkStation の USB コネクタに接続して使用できるハードディスクは 1 台までです。
弊社製ハードディスク以外のハードディスクは対応しておりません (弊社製 DIU/DUB シリーズは非対応)。

※ AUTO 電源機能を搭載したハードディスクを LinkStation に接続する場合、「AUTO 電源機能切替スイッチ」を「MANUAL」に設定してください。「AUTO」に設定すると認識されないことがあります。

※ HD-DU2 シリーズを LinkStation でフォーマットすると、ダイレクトコピー機能は使用できなくなります。

●USB コネクタに接続したハードディスクは、第 1 パーティション (領域) のみ認識されます。第 2 パーティション以降は認識できません。

●LinkStation の USB コネクタに接続したハードディスクが FAT16/32 形式でフォーマットされている場合、次の制限があります。

・共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。LinkStation のバックアップ先 (P68) としてお使いください。

・1 ファイル 2GB 以上のデータはバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

・MacOS X で自動生成されたファイル (.DS_Store など) がある場合は、ファイル名に FAT32/16 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

●LinkStation の USB コネクタに接続して使用できるプリンタは 1 台までです。

●以下のプリンタは LinkStation の USB コネクタに接続して使用することはできません。
・WPS(Windows Printing System) プリンタ
・LinkStationのプリンタ設定画面【P39】で選択できないPostScript非対応プリンタ (Macintosh)
・双方向通信のみ対応のプリンタ (LinkStation は双方向通信に対応しておりません)
※使用するプリンタの双方向通信は必ず無効にしてください。【P88】
プリンタによっては双方向通信を無効にすると印刷時にエラーが表示されることがありますが印刷はできます。また双方向通信に対応していないので、インク残量などのプリンタのステータスは取得できません。

●複合機能搭載プリンタを接続した場合、プリンタ機能のみ使用できます。その他の機能 (スキャナ、カードリーダ、FAX など) を使用することはできません。

●EPSON 製 PM シリーズインクジェットプリンタを LinkStation に接続して Mac OS X で使用するときは、P35、37「Apple Talk を使う場合」を参照してプリンタを設定してください。P36、38「TCP/IP を使う場合」に記載の設定では使用できません。

次のページへ続く

<<Microsoft ネットワークドメインに関する制限 >>

●LinkStation をドメインでネットワークに参加させるときは、あらかじめ PDC に LinkStation の名称と同一名のコンピュータアカウントを次の方法で登録しておく必要があります。

WindowsNT4.0 Server　サーバマネージャでコンピュータアカウントを登録します。
Windows2000 Server　サーバマネージャ (*) を使用してアカウントを登録してください。
*[ファイル名を指定して実行] より [srvmgr.exe] を入力し [OK] をクリックすると起動します。

●LinkStation は SMB パケットのデジタル署名に対応しておりません。設定によっては Windows Server 2003 で LinkStation をドメインでネットワークに参加させることができないことがあります。【P90】

●Macintosh からはドメインユーザの認証はできません。(※)
※ Mac OS X(10.3) でドメインに参加して smb を指定して接続している場合を除く。

●FTP で接続した場合、ドメインユーザの認証はできません。

●LinkStation の名称を変更すると､ドメインでネットワークに参加できなくなります。その場合は、ドメインコントローラのコンピュータアカウントを作成して、再度ネットワークに参加させてください。【P73】

●LinkStation に追加されるドメインユーザは、LinkStation がドメインでネットワークに参加した時点のものです。その後、ドメインコントローラ上でユーザ設定が変更されても、LinkStation には反映されません。変更された情報を反映するには、LinkStation のコンピュータアカウントをリセットして再度ドメインに参加させてください。【P73】

●LinkStation 設定画面の「LinkStation 状態」に「PDC によるアクセス認証は現在無効です」と表示される場合は、コンピュータアカウントをリセットして、再度ドメインに参加させてください。【P90】

●ドメインユーザ名が 20 文字を超える場合、LinkStation は Windows2000 以前のユーザ名 (20 文字のユーザ名) を取得します。

●LinkStation は、Windows2000Server 以降のネイティブモードのドメインに対応していません。LinkStation が対応しているドメインは､WindowsNT4.0 でのみ構成されたドメインと、Windows2000Server 以降の混在モードで構成されたドメインです。

※ドメイン名の末尾に「.local」「.net」「.co.jp」などが含まれるドメイン環境では正常に動作しない場合があります。

●1000 名を越えるユーザ数をドメインサーバから取得することはできません。

●Microsoft ネットワークドメインでログオンしたときは、ドメインに登録されたグループ名ではアクセス制限を設定することができません。ドメインに登録されたユーザ名でアクセス制限を設定することはできます。

●ログオン認証は LANMAN 認証、NTLM 認証であるドメインに対応します (NTLMv2 認証、Kerberos 認証、SPNEGO 認証は利用できません)。

2 セットアップ（基本編）

LinkStation のセットアップ手順を説明しています。

WindowsXP/2000/Me/98SE/98 でのセットアップ手順

パソコンの電源スイッチを ON にする

付属のユーティリティ CD(CD-ROM) を CD-ROM ドライブにセットする

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って操作する
【別紙「はじめにお読みください」】

⚠注意
- LAN ケーブル、電源ケーブルは簡単セットアップ画面の表示に従って接続します。簡単セットアップを起動する前に接続しないでください。
- LinkStation のセットアップは、WidndowsXP/2000/Me/98SE/98 搭載パソコン 1 台から、簡単セットアップを実行することにより完了します。【別紙「はじめにお読みください」】

メモ
- 簡単セットアップは自動的に LinkStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当て、[マイコンピュータ] の中にアイコンを追加します。他のパソコンから LinkStation の共有フォルダに読み出し / 書き込みをするには、P22 の手順でネットワークドライブの割り当てをしてください。
- ネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合、LinkStation はネットワークに接続するだけで DHCP クライアントとして動作します。
- 簡単セットアップを実行すると、使用されていない IP アドレスを自動的に Link Station に割り当てます。
簡単セットアップを実行しないと、LinkStation は出荷時設定の固定 IP アドレス (192.168.11.150) で動作します。
- 簡単セットアップで自動設定できるのは 1 台につき 1 回までです。再度簡単セットアップで自動設定したいときは、P67 を参照して LinkStation の設定を初期化してから行ってください。
- CyberTrio-NX がインストールされている PC98-NX シリーズでは、CyberTrio-NX をアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windows の設定が変更できないことがあります。パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

Windows95/NT4.0、Mac OS でのセットアップ手順

Windows95/NT4.0、Mac OS で LinkStation の初期設定をすることはできません。WindowsXP/2000/Me/98SE/98 搭載パソコンより本製品のセットアップを済ませておいてください。【P9】

▼

パソコンをネットワークに接続します。
接続の手順は、パソコンおよびネットワークインターフェースのマニュアルを参照してください。

▼

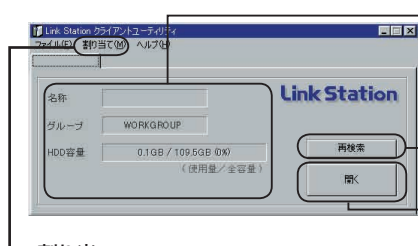
Windows95/NT4.0：ネットワークドライブの割り当てを行います。【P23】
Mac OS：ネットワークドライブのマウントを行います。【P11】

クライアントユーティリティについて

クライアントユーティリティを使えば、簡単に LinkStation のハードディスクの容量を知ることができます。

WindowsXP/2000/Me/98SE/98/NT4.0/95 では､簡単セットアップで｢クライアントユーティリティのインストール」を選択して、[開始] をクリックするとクライアントユーティリティがインストールされます。Mac OS ではインストールすることはできません。

起動方法：[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[LinkStation]-[クライアントユーティリティ] をクリックします。

使い方：

LinkStation の名称、グループ、ハードディスクの容量が表示されています。
※表示の容量は、1kbytes=1024bytes で計算しています。

クリックすると LinkStation を再検索します。

クリックすると LinkStation の共有フォルダを表示します。

割り当て

- **ネットワークドライブの割り当て**
  共有フォルダ（share）をネットワークドライブとしてマイコンピュータに追加します。
- **ネットワークドライブの切断**
  ネットワークドライブの割り当てを解除します。
- **全 LinkStation の割り当て**
  検索された LinkStation の共有フォルダ（share）をネットワークドライブとしてマイコンピュータに追加します。

次のページへ続く

LinkStation の内蔵ハードディスク内にある「INFO」-「LsClient」フォルダの中には、クライアントユーティリティが収録されています。ユーティリティ CD が無くても実行またはインストールすることができます。

LsClient.exe　ダブルクリックすると直接クライアントユーティリティを実行することができます。

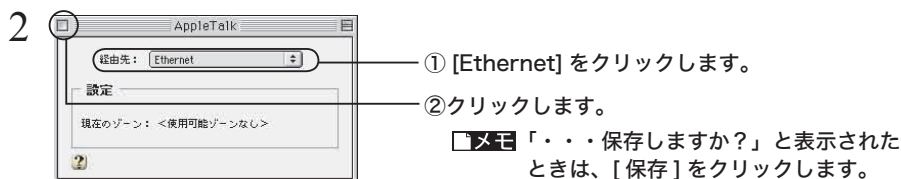
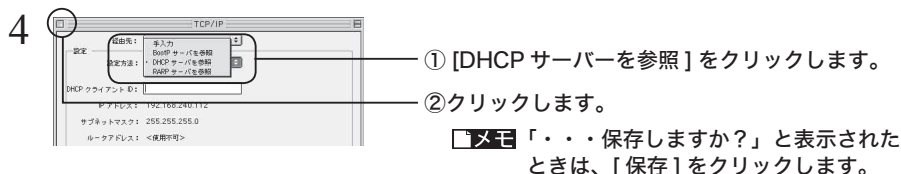
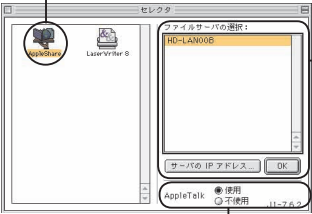
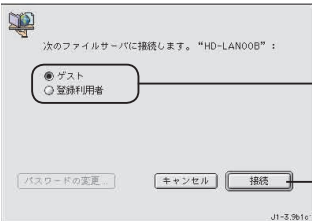
Setup.exe　クライアントユーティリティをインストールすることができます。

ネットワークドライブのマウント

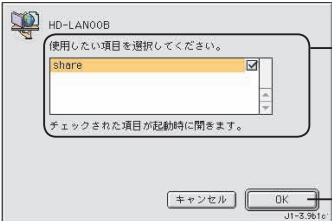
Mac OS 8.6 〜 9.2.2

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから簡単セットアップを実行して LinkStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、LinkStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[コントロールパネル]-[AppleTalk] をクリックします。

2

3 アップルメニューから、[コントロールパネル]-[TCP/IP] をクリックします。

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定方法] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

5 アップルメニューから [セレクタ] をクリックします。

次のページへ続く

6

① [AppleShare] をクリックします。

② [ファイルサーバの選択] から LinkStation のドライブ名を選択し、[OK] をクリックします。

メモ ドライブ名は、「HD-HGLANxxx」と表示されます。下線部は LinkStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

ドライブ名が表示されないときは、[サーバの IP アドレス] をクリックし、LinkStation の IP アドレスを入力してください。

※ [AppleTalk] は、必ず [使用] を選択してください。

7

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、LinkStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録利用者] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

8

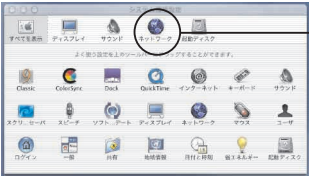
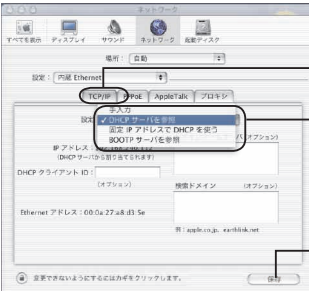
① LinkStation の共有フォルダを選択します。

注意 選択する場合、1 個の共有フォルダだけを選択してください。2 個以上選択すると起動時にマウントできないことがあります。

② [OK] をクリックします。

メモ 共有フォルダの右にあるチェックボックスをクリックして、チェックマークを表示させておくと、次回 Macintosh を起動したときに、自動的に LinkStation の共有フォルダをマウントします。

9 マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

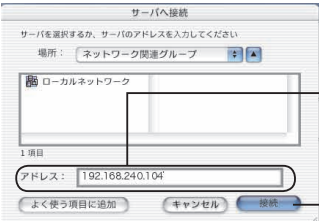
表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X(10.0.4 ～ 10.1.5)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから簡単セットアップを実行して LinkStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、LinkStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

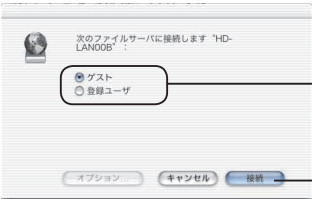
2

3

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定方法] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

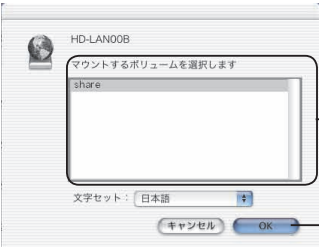
例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

次のページへ続く

5 メニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6
LinkStation の IP アドレスを入力します。

メモ LinkStation の IP アドレスは、Windows 搭載パソコンでご確認ください。

[接続] をクリックします。

7
① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、LinkStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

8
① LinkStation の共有フォルダをクリックします。

② [OK] をクリックします。

9 マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

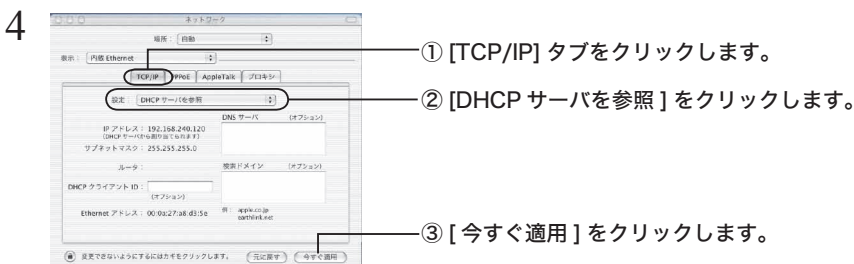
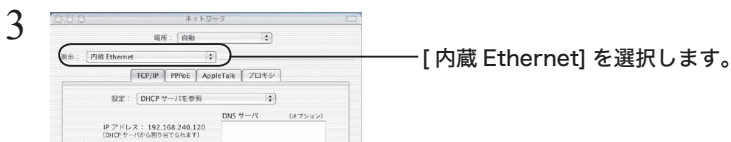
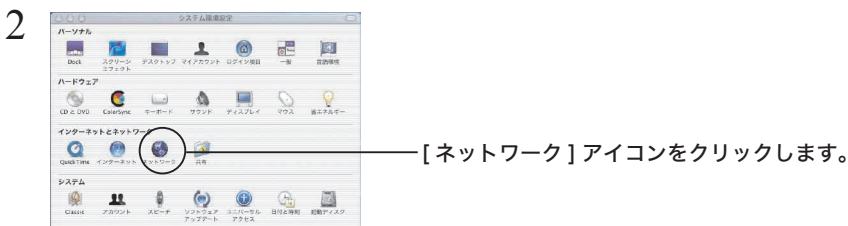
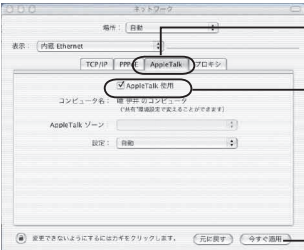
Mac OS X (10.2 〜 10.2.8)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから簡単セットアップを実行して LinkStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、LinkStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

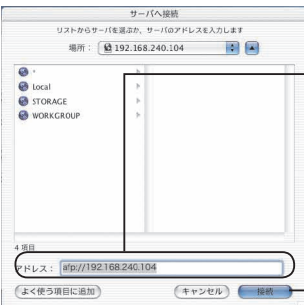
2

3

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

次のページへ続く

LinkStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合

メモ Win/Mac 用共有フォルダ(どちらの OS でも見えるフォルダ)にアクセスする場合は、P16 に記載の 5a 以降の手順でも、P17 に記載の 5b 以降の手順でもどちらでもかまいません。

5a

① [AppleTalk] タブをクリックします。

② [AppleTalk 使用] をクリックします。

③ [今すぐ適用] をクリックします。

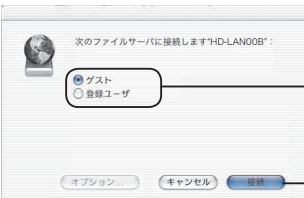
6a ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

7a

「afp://LinkStation の IP アドレス」を入力します。(例 afp://192.168.11.150)

⚠注意 afp を指定して接続することによって Macintosh 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、2GB 以上のファイルは見ることができません。ご注意ください。

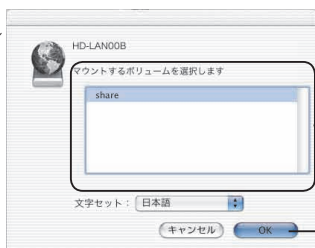
[接続] をクリックします。

8a

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、LinkStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

次のページへ続く

9a

① LinkStation の共有フォルダをクリックします。

② [OK] をクリックします。

10a マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

LinkStation の Windows 用共有フォルダにアクセスする場合

5b

「smb://LinkStation の IP アドレス」を入力します。(例 smb://192.168.11.150)

⚠注意 smb を指定して接続することによって Windows 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、全角文字 (日本語など) のファイル名やフォルダ名は正常に表示されません。ご注意ください。

[接続] をクリックします。

6b

① LinkStation の共有フォルダをクリックします。

② [OK] をクリックします。

次のページへ続く

7b

① [ユーザ名]、[パスワード] を空欄のままにします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、LinkStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

② [OK] をクリックします。

8b マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

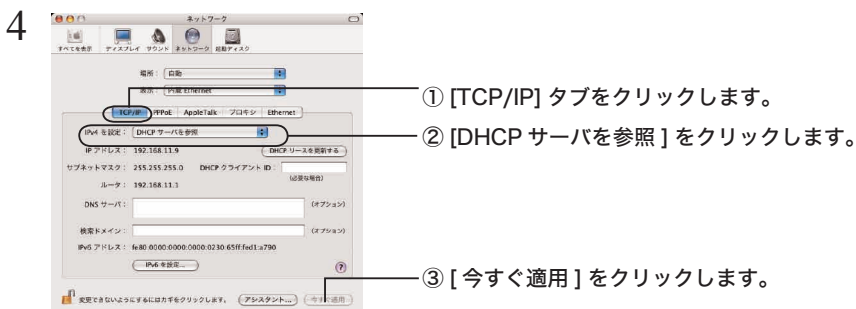
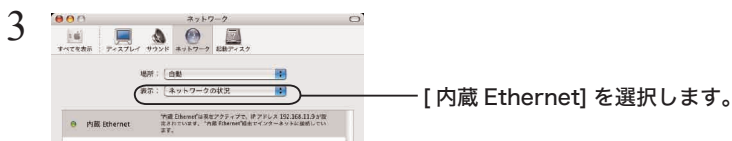
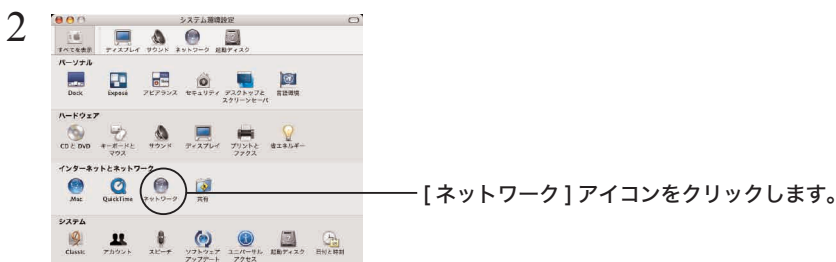
表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X (10.3 ～ 10.4)

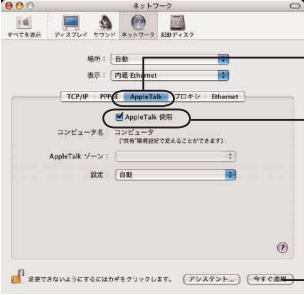
⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから簡単セットアップを実行して LinkStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、LinkStation の IP アドレスをメモしてください。

メモ 画面は Mac OS X 10.3 の例です。Mac OS 10.4 をお使いの場合、一部画面が異なります。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

2

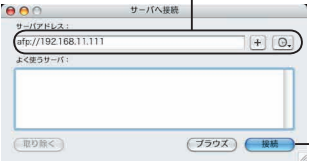
3

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

次のページへ続く

LinkStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合

メモ　Win/Mac 用共有フォルダ (どちらの OS でも見えるフォルダ) にアクセスする場合は、P20 に記載の 5a 以降の手順でも、P21 に記載の 5b 以降の手順でもどちらでもかまいません

5a

① [AppleTalk] タブをクリックします。

② [AppleTalk 使用] をクリックします。

③ [今すぐ適用] をクリックします。

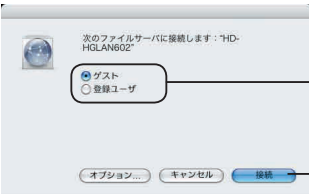
6a ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

7a

「afp://LinkStation の IP アドレス」を入力します。(例 afp://192.168.11.150)

⚠注意　afp を指定して接続することによって Macintosh 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、2GB 以上のファイルは見ることができません。ご注意ください。

[接続] をクリックします。

8a

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ　Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、LinkStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

9a　LinkStation の共有フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

次のページへ続く

10a マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

LinkStation の Windows 用共有フォルダにアクセスする場合

5b

「smb://LinkStation の IP アドレス」を入力します。(例 smb://192.168.11.150)

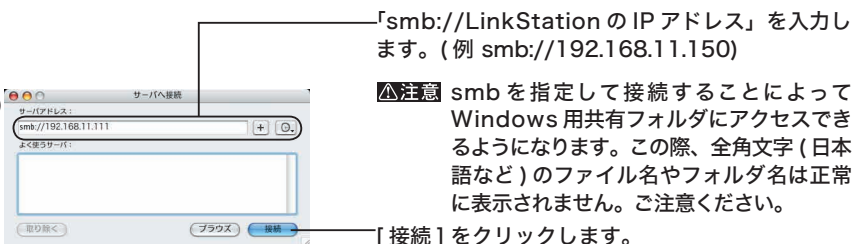
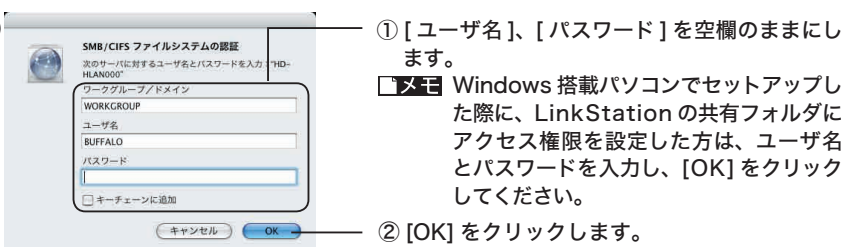
⚠注意 smb を指定して接続することによって Windows 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、全角文字 (日本語など) のファイル名やフォルダ名は正常に表示されません。ご注意ください。

[接続] をクリックします。

6b LinkStation の共有フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

7b

① [ユーザ名]、[パスワード] を空欄のままにします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、LinkStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

② [OK] をクリックします。

8b マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

3 セットアップ(応用編)

応用的使用方法(ネットワークドライブの割り当て、IP アドレス変更、LinkStation の複数台増設)を説明しています。

ネットワークドライブの割り当て

設定を行うパソコンでは、簡単セットアップを使用すれば自動的にネットワークドライブが割り当てられ、マイコンピュータの中に LinkStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。
設定を行うパソコン以外で使用するには、以下の手順でネットワークドライブを割り当ててお使いください。

WindowsXP

1 [スタート]-[マイ コンピュータ]をクリックします。

2

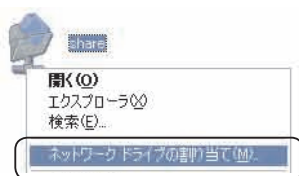
[マイ ネットワーク]をクリックします。

3 [LinkStation] アイコンをダブルクリックします。

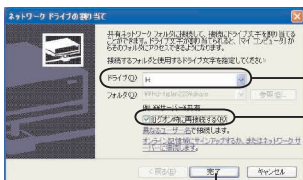
メモ 上記のアイコンが無いときは、次の手順を行ってください。

1 [ワークグループのコンピュータを表示する]をクリックします。
2 [Microsoft Windows Network] アイコンをクリックします。
3 LinkStation があるワークグループ(例:WORKGROUP)のアイコンをクリックします。
※ワークグループの名称は LinkStation の設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。
4 [LinkStation] アイコンをダブルクリックし、手順 4 以降に従ってください。

次のページへ続く

4

①LinkStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

5

①ドライブ名を選択します。

②[ログオン時に再接続する] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

③[完了] をクリックします。

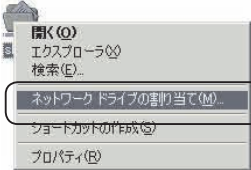
6 [マイ コンピュータ] の中に、LinkStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、LinkStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークパスが見つかりません。この接続は復元されませんでした」と表示されます。

WindowsMe/98SE/98/95/NT4.0

1 デスクトップ画面の [マイ ネットワーク (ネットワークコンピュータ)] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

WindowsMe をお使いの場合は、[このフォルダの内容をすべて表示する] をクリックしてください。

3 LinkStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。

メモ ワークグループ名称は LinkStation 設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。

4 [HD-HGLANxxx] アイコンをダブルクリックします。

下線部は LinkStation の MAC アドレス末尾３桁です。お使いの製品によって異なります。

次のページへ続く

5

①LinkStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

※ 画面は WindowsMe の例です。

6

①ドライブ名を選択します。

②[OK] をクリックします。

※[ログオン時に再接続] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

7 [マイ コンピュータ] の中に、LinkStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、LinkStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「接続中に次のエラーが発生しました。常設の接続は利用できません。」と表示されます。

Windows2000

1 デスクトップ画面の [マイ ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

3 [ネットワークの全内容を表示することもできます。] をクリックします。

4 [Microsoft Windows Network] アイコンをダブルクリックします。

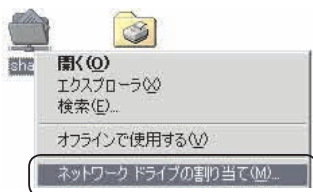
5 LinkStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。

メモ ワークグループ名称は LinkStation 設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。

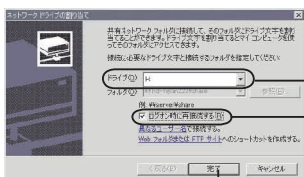
6 [HD-HGLANxxx] アイコンをダブルクリックします。

下線部は LinkStation の MAC アドレス末尾３桁です。お使いの製品によって異なります。

次のページへ続く

7

①LinkStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

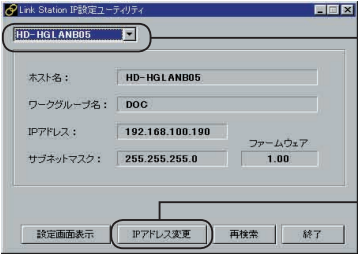
8

①ドライブ名を選択します。

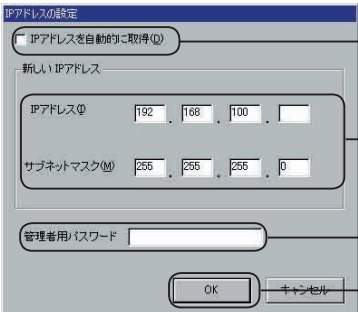
②[ログオン時に再接続] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

③[完了] をクリックします。

9 [マイ コンピュータ] の中に、LinkStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、LinkStationがネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「再接続するときにエラーが発生しました。(中略) この接続は復元されませんでした。」と表示されます。

LinkStation の IP アドレスを変更したいとき

LinkStation と他のネットワーク製品の IP アドレスが競合している場合、Link Statin の IP アドレスを変更しないと使用できません。
LinkStation の IP アドレスの変更には、付属の IP 設定ユーティリティをお使いください。

1 **[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[LinkStation]-[IP 設定ユーティリティ] をクリックします。**

IP 設定ユーティリティが起動します。

2

3

※ 1 LinkStation が 2 台以上接続されているときは、名称が複数表示されます。IP アドレスを変更したい LinkStation を選択してください。

※ 2 チェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバから再度自動的に割り当てられるようにします。ネットワーク内に DHCP サーバが無いときは、この機能は使用できません。

※ 3 初めてお使いになるときは、パスワードは設定されていません。空白のまま [OK] をクリックしてください。ブラウザからの LinkStation の設定画面でパスワードを設定したときに、同じパスワードをこちらへ入力しないと IP アドレスは変更できません。

以上で IP アドレスの変更は完了です。

2 台以上 LinkStation を増設したいとき

付属のユーティリティ CD で、簡単セットアップを追加した LinkStation の台数と同じ回数実行してください。

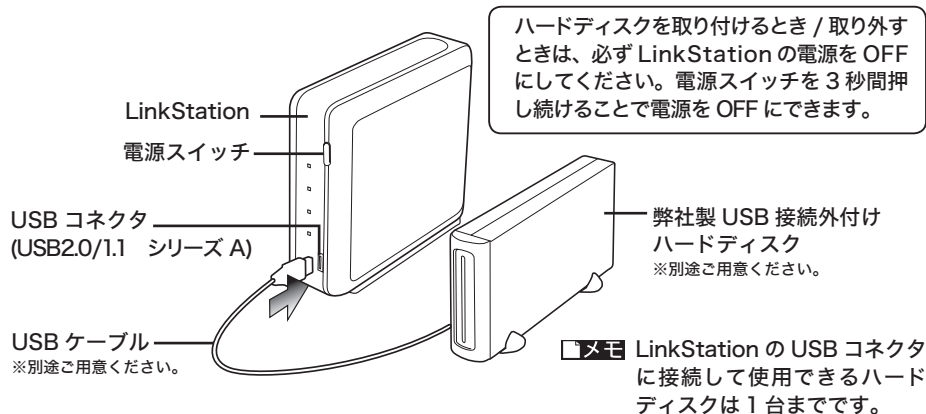
⚠注意 ネットワーク内に DHCP サーバが存在しないときは、簡単セットアップを実行しないと LinkStation の IP アドレスが全て 192.168.11.150(出荷時設定) になっています。このままでは LinkStation 同士で IP アドレスが競合してしまい使用できません。簡単セットアップを LinkStation の台数と同じ回数実行するか、P26 を参照して重複しないよう IP アドレスを変更してください。

LinkStation にハードディスクを増設したいとき

LinkStation には前面と背面に USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A) を装備しています。USB コネクタには弊社製ハードディスクを増設して、LinkStation の共有フォルダを追加することができます。

⚠注意 「LinkStation の USB コネクタに関する制限」【P7】を必ずお読みください。

ハードディスクの接続

図のように接続をしてください。(図は前面の USB コネクタに接続している例です。背面にある USB コネクタにも接続することができます【P4】。)

FAT32/16 形式フォーマットのハードディスクを接続した場合、次の制限があります。

・共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。LinkStation のバックアップ先 (P68) としてお使いください。

・1 ファイル 2GB 以上のデータはバックアップできません。

P28 の手順で LinkStation 専用フォーマット形式 (EXT3) でフォーマットした場合、増設した USB ハードディスクは直接パソコンに接続しても読み出すことはできません。

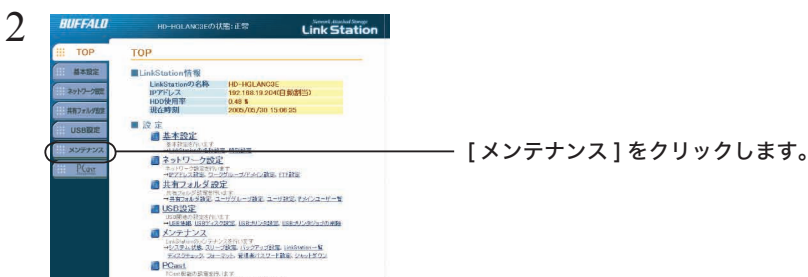
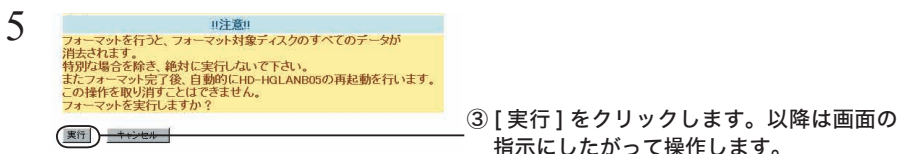
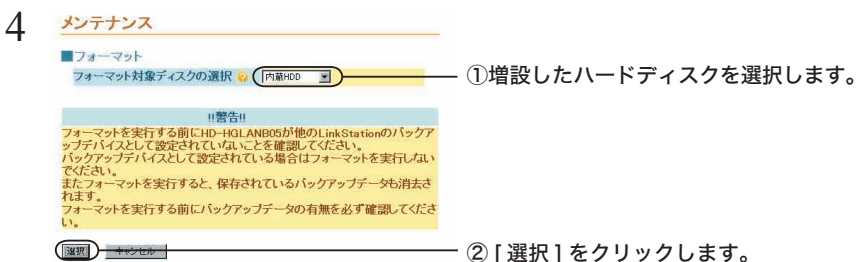
次のページへ続く

・MacOS X で自動生成されたファイル (.DS_Store など) がある場合は、ファイル名に FAT32/16 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

⚠注意 増設には弊社製 USB 接続外付けハードディスク (DUB/DIU シリーズは非対応です) などをお使いください。

増設したハードディスクをフォーマットする

LinkStation に接続したハードディスクは、ご使用の前に次の手順でハードディスクをフォーマット (EXT3 形式) することをおすすめします。

1 P40 の手順で設定画面を表示します。

2

3 [フォーマット] をクリックします。

4

フォーマット中は、LinkStation の DISK FULL ランプが点滅しています。フォーマットが終わると自動的に LinkStation が再起動します (電源ランプが点滅します)。

次のページへ続く

6 電源ランプが点滅から点灯に変わったら、[TOP] をクリックします。

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

増設したハードディスクの共有フォルダを見えなくする

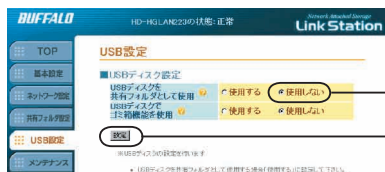
増設したハードディスクの共有フォルダを見えなくするには次のように設定します。

メモ 共有フォルダが見えなくても、フォーマット、ディスクチェック、バックアップを増設したハードディスクに実行することはできます。

1 P40 の手順で設定画面を表示します。

2

3 [USB ディスク設定] をクリックします。

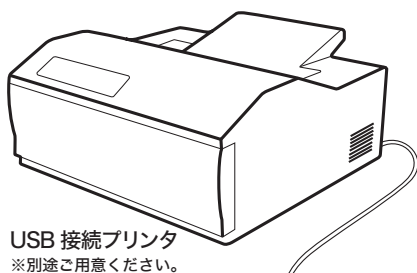
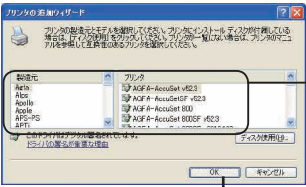
4

以上で設定は完了です。

LinkStation にプリンタを増設したいとき

LinkStation の USB コネクタにプリンタを増設して、共有使用することができます。

⚠注意「LinkStation の USB コネクタに関する制限」【P7】を必ずお読みください。

プリンタの接続

図のように接続をしてください (図は前面の USB コネクタに接続している例です。背面にある USB コネクタにも接続することができます【P4】。)

WindowsXP での共有設定 (プリンタの登録)

1 プリンタに付属のマニュアルを参照してプリンタのドライバをインストールしてください。

2 [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。

3 [ネットワークとインターネット接続] アイコンをクリックします。

4 [マイネットワーク] − [ワークグループのコンピュータを表示する] − LinkStation のサーバ名の順にダブルクリックします。

5

次のページへ続く

6 「HD-HGLAN 上のプリンタに接続しようとしています。お使いのコンピュータにプリンタドライバが自動的にインストールされます。(省略) 続行しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。

7 「プリンタのサーバに正しいプリンタドライバがインストールされていません。正しいドライバを検索するには [OK] をクリックしてください。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

8

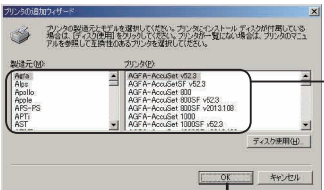
9 [以降は画面の指示に従ってプリンタを登録してください。

以上でプリンタの登録は完了です。

Windows2000/NT4.0 での共有設定 (プリンタの登録)

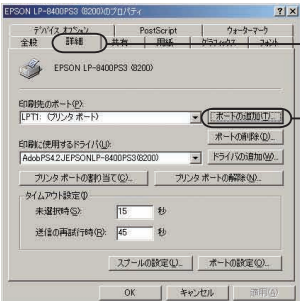
1 プリンタに付属のマニュアルを参照してプリンタのドライバをインストールしてください。

2 [マイ ネットワーク (※)] ー [ネットワークの全体] ー LinkStation のサーバ名をダブルクリックします。

※ WindowsNT4.0 では [ネットワークコンピュータ] と表示されています。

3

4

[はい] をクリックします。

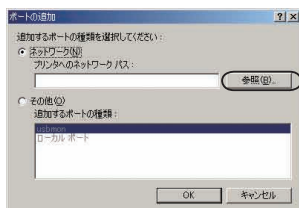
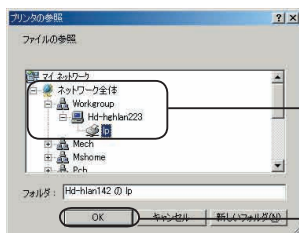
次のページへ続く

7 [以降は画面の指示に従ってプリンタを登録してください。

以上でプリンタの登録は完了です。

WindowsMe/98SE/98/95 での共有設定（プリンタの登録）

1 プリンタに付属のマニュアルを参照してプリンタのドライバをインストールしてください。

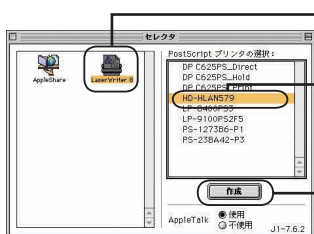
2 [スタート] ー [設定] ー [プリンタ] をクリックします。

3 手順 1 でインストールしたプリンタを右クリックし、メニューから [プロパティ] をクリックします。

次のページへ続く

以上でプリンタの登録は完了です。

Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 での共有設定（プリンタの登録）

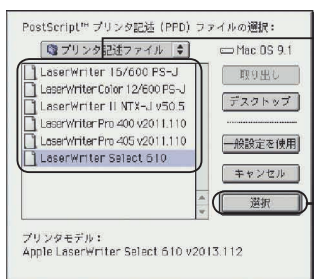
1 アップルメニューから [セレクタ] をクリックします。

2

① [LaserWriter8] を選択します。

②プリンタの共有名をダブルクリックします。

メモ プリンタの共有名は LinkStation の名称と同じです。

③ [作成] をクリックします。

3

① PostScript 対応プリンタの場合はプリンタ記述ファイルを選択、非対応プリンタの場合は、「一般設定を使用」をクリックします。

メモ 設定が分からないときは、「一般設定」を選択してください。

② [選択] をクリックします。

4

セレクタを閉じます。

続いて、P39 のプリンタ設定 (Macintosh AppleTalk・TCP/IP) を行います。

Mac OS X 10.0.4 〜 10.2.8 での共有設定（プリンタの登録）

Mac OS X での印刷手順は、Apple Talk を使う場合と、TCP/IP を使う場合の 2 種類があります。

● Apple Talk を使う場合

1 [Applications] − [Utilities] − [Print Center] を選択します。

2 「使用可能なプリンタがありません」と表示されたら、[追加] をクリックします。

プリンタを追加するのが２回目以降の場合は、[プリンタリスト] 画面が表示されますので、[プリンタを追加] をクリックします。

3 リストボックスから [Apple Talk] を選択します。

4

① プリンタの共有名を選択します。

メモ プリンタの共有名は LinkStation の名称と同じです。

② PostScript 対応プリンタの場合はプリンタ記述ファイルを選択、非対応プリンタの場合は、「一般設定」を選択します。

メモ 設定が分からないときは、「一般設定」を選択してください。

③ [追加] をクリックします。

続いて、P39 のプリンタ設定 (Macintosh AppleTalk・TCP/IP) を行います。

次のページへ続く

● TCP/IP を使う場合

⚠注意 EPSON 製 PM シリーズインクジェットプリンタを使用するときは、TCP/IP を使うことはできません。P35「Apple Talk を使う場合」を参照してプリンタを設定してください。

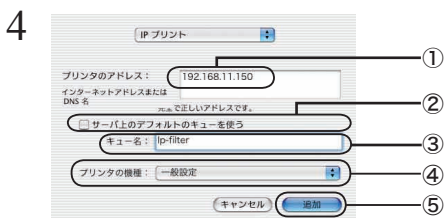
1 [Applications] − [Utilities] − [Print Center] を選択します。

2 「使用可能なプリンタがありません」と表示されたら、[追加] をクリックします。

プリンタを追加するのが２回目以降の場合は、[プリンタリスト] 画面が表示されますので、[プリンタを追加] をクリックします。

3 Mac OS X(10.1.5 以前) をお使いの方は、リストボックスから [IP を使用する LPR プリンタ] を選択します。

Mac OS X(10.2 以降) をお使いの方は、リストボックスから [IP プリント] を選択します。

4

① LinkStation の IP アドレスを入力します。

メモ あらかじめ P40 の手順で Windows 搭載パソコンを使って LinkStation の IP アドレスを調べておいてください。

② [サーバのデフォルトキューを使う] のチェックを外します。

③ [キュー名] を入力します。

・ポストスクリプト対応プリンタの場合、「**lp-ps**」と入力してください。
・ポストスクリプト非対応プリンタの場合、「**lp-filter**」と入力してください。

④ [プリンタの機種] 選択します。

メモ プリンタによって設定は異なります。プリンタに付属のマニュアルを参照ください。設定が分からないときは、「一般設定」を選択してください。

⑤ [追加] をクリックします。

続いて、P39 のプリンタ設定 (Macintosh AppleTalk・TCP/IP) を行います。

Mac OS X 10.3 〜 10.4 での共有設定（プリンタの登録）

Mac OS X での印刷手順は、Apple Talk、TCP/IP を使う場合の 2 種類があります。

メモ 画面は Mac OS X 10.3 の例です。Mac OS 10.4 をお使いの場合、一部画面が異なります。

● Apple Talk を使う場合

1 [アプリケーション] − [ユーティリティ] − [プリンタ設定ユーティリティ] を選択します。

2 「使用可能なプリンタがありません」と表示されたら、[追加] をクリックします。

プリンタを追加するのが 2 回目以降の場合は、[プリンタリスト] 画面が表示されますので、[追加] をクリックします。

3 Mac OS X 10.3 では [AppleTalk] を選択します。Mac OS X 10.4 では [デフォルトブラウザ] を選択します。

4

① プリンタの共有名を選択します。

メモ プリンタの共有名は LinkStation の名称と同じです。

② [プリンタの機種] 選択します。

メモ プリンタによって設定は異なります。プリンタに付属のマニュアルを参照ください。設定が分からないときは、「一般設定」を選択してください。

③ [追加] をクリックします。

続いて、P39 のプリンタ設定 (Macintosh AppleTalk・TCP/IP) を行います。

次のページへ続く

● TCP/IP を使う場合

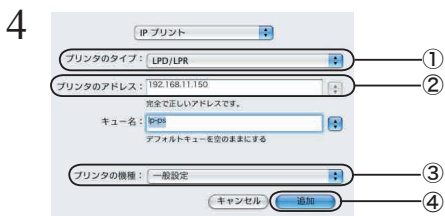
⚠注意 EPSON 製 PM シリーズインクジェットプリンタを使用するときは、TCP/IP を使うことはできません。P37「Apple Talk を使う場合」を参照してプリンタを設定してください。

1 [アプリケーション] − [ユーティリティ] − [プリンタ設定ユーティリティ] を選択します。

2 「使用可能なプリンタがありません」と表示されたら、[追加] をクリックします。

プリンタを追加するのが２回目以降の場合は、[プリンタリスト] 画面が表示されますので、[追加] をクリックします。

3 Mac OS X 10.3 では [IP プリント] を選択します。Mac OS X 10.4 では [IP プリンタ] を選択します。

4

① [LPD] を選択します。

② LinkStation の IP アドレスを入力します。

メモ あらかじめ P40 の手順で Windows 搭載パソコンを使って LinkStation の IP アドレスを調べておいてください。

③ [プリンタの機種] 選択します。

メモ プリンタによって設定は異なります。プリンタに付属のマニュアルを参照ください。設定が分からないときは、「一般設定」を選択してください。

⚠注意 PostScript 非対応のプリンタは Mac OS X では使用できません。

④ [追加] をクリックします。

続いて、P39 のプリンタ設定 (Macintosh AppleTalk・TCP/IP) を行います。

プリンタ設定（Macintosh AppleTalk・TCP/IP）

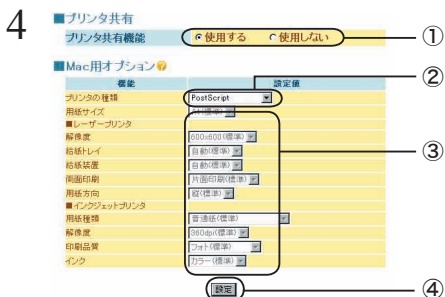
⚠注意 Macintosh では以下の設定を行わないと LinkStation に接続したプリンタから印刷することはできません。Windows 環境では以下の設定は必要ありません。

1 P11 ～ 21 の手順で LinkStation をマウントし、LinkStation 内 [info] フォルダを開きます。

2 [macprint.html] アイコンをダブルクリックします。

自動的に LinkStation の [USB 設定] 画面にジャンプします。

3 [USB プリンタ設定] をクリックします。

4

メモ [USB 設定] 以外のページに移動しようとすると、パスワードの入力画面が表示されます。

① プリンタを使用するかしないかを選択します。
[使用しない] を選択すると LinkStation に接続したプリンタがパソコン (Windows 含む) から認識されなくなります。

② プリンタの種類を選択します。
ポストスクリプト対応プリンタをお使いのときは、「PostScript」を選択してください。
ポストスクリプト非対応プリンタをお使いのときは、こちらに表示される製品名から選択してください。
表示されない種類のプリンタは Macintosh では使用できません。

③ 解像度、給紙トレイ、給紙装置、両面印刷、用紙サイズ、用紙方向を設定します。
メモ お使いのプリンタがレーザープリンタの場合、[レーザープリンタ] の項目を、インクジェットプリンタの場合、[インクジェットプリンタ] の項目を設定してください。

④ [設定] をクリックします。

以上でプリンタの設定は完了です。

⚠注意 Macintoh によっては、プリンタ用紙サイズの選択に A3 サイズが無いことがあります。このようなときは、アプリケーションのメニューから A3 サイズの寸法を指定してください。

例) アプリケーションのメニュー→ [ファイル]-[ページ設定] で [カスタム用紙サイズ] を選択し、長さ 41.99cm 幅 29.70cm を入力し [OK] をクリックします。

※ Mac OS 9 以前の OS では A3 サイズで出力することはできません。

4 詳細設定（応用編）

LinkStation の設定手順を説明しています。
共有フォルダの作成、アクセス権限などを設定したいときに行ってください。

設定画面の表示方法

設定画面を表示するときは、次の手順で行います。

1 **[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[LinkStation]-[IP 設定ユーティリティ] をクリックします。**

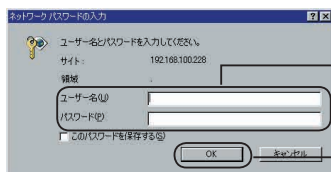
IP 設定ユーティリティが起動します。

2

①LinkStation が 2 台以上接続されているときは、名称が複数表示されます。設定したい LinkStation を選択してください。

②IP アドレスをメモしてください。

③ [設定画面表示] をクリックします。

3

① ユーザ名に root と入力します。
はじめて設定画面を表示するときは、パスワードは空欄のままにしてください。

② [OK] をクリックします。

4 **設定画面が表示されます。**

⚠注意 ・ブラウザには Microsoft Internet Explorer5 以降をお使いください。
・ブラウザのプロキシが有効に設定されていると、設定画面が正常に表示できません。P77 を参照して無効にしてください。

LinkStation の現在の状態 (LinkStation 名、IP アドレス、ハードディスクの使用率、時刻) を表示しています。

各設定項目の説明が表示されています。

次のページへ続く

メモ　増設したWindows搭載パソコンで設定画面を表示するときは

P40の手順2でメモをしたIPアドレスをお使いのブラウザのアドレス欄に入力して<Enter>キーを押してください。以降はP40の手順3以降に従ってください。

詳細設定の項目

LinkStationの設定画面より、次の項目を設定できます。

メモ　設定画面での入力文字数には、以下の制限があります。

LinkStationの名称(※1)	半角英数12文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
LinkStationの説明(※1)	半角英数50文字（全角25文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ワークグループ名(※1)	半角英数15文字（全角7文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
ドメイン名(※1)	半角英数15文字（全角7文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
PDCホスト名(※1)	半角英数12文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
共有フォルダ名(※1)	半角英数12文字（全角6文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
共有フォルダの説明(※1)	半角英数50文字（全角25文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ユーザグループ名(※2)	半角英数12文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
ユーザグループの説明(※2)	半角英数50文字（全角25文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ユーザ名(※3)	半角英数12文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
ユーザパスワード(※2)	半角英数8文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
ユーザの説明(※1)	半角英数50文字（全角25文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
管理者パスワード(※1)	半角英数8文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)

※1 先頭文字に数字や記号を使用することはできません。
※2 先頭文字に記号(アンダーバー除く)を使用することはできません。
※3 先頭文字に記号を使用することはできません。

設定画面の機能一覧

LinkStation の設定画面で設定できる機能を説明します。本書に記載の画面は例であり、お使いの環境によって表示は異なります。

メモ 画面にある [?] アイコンをクリックするとヘルプが表示されます。

LinkStation の名称：ネットワーク上で LinkStation を認識する名前を入力します。
LinkStation の説明：ネットワーク上の LinkStation の名称を補足説明を入力します。
※ Windows でのみ表示されます。Macintosh では表示されません。

[現在の時刻を取得] をクリックすると、現在の時刻を自動的に入力します。

メモ LinkStation 内蔵の時計は長期間使用すると時間がずれることがあります。ずれていたときは修正してください。また時刻は NTP 機能で自動的に修正することもできます。

NTP 機能：ネットワークを通じて自動的に時刻を修正する機能を使用するかどうか選択します。
NTP サーバアドレス：NTP サーバの IP アドレスを入力します (入力例：192.168.11.123)。

メモ NTP 機能を使用すると、3 時間間隔で時刻修正を自動的に行います。

ネットワーク設定

■IPアドレス設定

DHCPクライアント機能	◉使用する ○使用しない
IPアドレス設定	IPアドレス: 192.168.100.228 サブネットマスク: 255.255.255.0

設定

DHCP クライアント機能：
ネットワーク内に DHCP サーバがあるとき、DHCP クライアント (IP アドレス自動割り当て) 機能を利用できます。

IP アドレス設定：
IP アドレスとサブネットマスクを設定します。

■デフォルトゲートウェイ設定

デフォルトゲートウェイ設定	○指定する ◉指定しない
デフォルトゲートウェイアドレス	IPアドレス: 192.168.100.1

設定

デフォルトゲートウェイ設定：
デフォルトゲートウェイが存在しない場合は [しない] を選択して「設定」ボタンを押してください。
IP アドレス自動取得を設定している場合、デフォルトゲートウェイは自動取得されます。

デフォルトゲートウェイアドレス：
デフォルトゲートウェイが存在するとき、IP アドレスで指定します。

■DNSサーバ設定

DNSサーバ設定	○指定する ◉指定しない
DNSサーバアドレス	IPアドレス: 202.11.178.112

設定

DNS サーバ設定：
DNS サーバが存在しない場合「指定しない」を選択し「設定」ボタンを押して下さい。DHCP クライアント機能を使用している場合、DNS サーバアドレスは自動取得されます。

DNS サーバアドレス：
DHCP クライアント機能を使用している場合、DNS サーバの IP アドレスは自動取得されます。

■イーサネットフレームサイズ設定

イーサネットフレームサイズ	1518バイト(デフォルト)
	1518バイト(デフォルト) 4100バイト(Jumbo Frame) 7418バイト(Jumbo Frame)

設定

イーサネットフレームサイズ設定：
一回で転送できるデータの最大サイズを変更して転送効率を向上させることができます。

1518 バイト (デフォルト)	出荷時には 1518bytes に設定されています。
4100 バイト (Jumbo Frame)	4100bytes で転送を行います。
7418 バイト (Jumbo Frame)	7418bytes で転送を行います。

⚠注意 Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用するときは、P74 の注意事項を必ずお守りください。

■Microsoftネットワーク設定

ネットワーク参加方法	◉ワークグループ ○ドメイン
ワークグループ名設定	WORKGROUP
ドメイン名設定	
PDCホスト名設定	
WINSサーバ設定	○指定する ◉指定しない
WINSサーバのIPアドレス	IPアドレス: 0.0.0.0

設定

ネットワーク参加方法：
ネットワークに参加する方法 (ワークグループまたはドメイン) を選択します。通常は [ワークグループ] を選択します。ドメインで参加するには Microsoft ネットワークドメインの設定を知っている必要があります。詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。またドメインで参加する場合、P8「Microsft ネットワークドメインに関する制限」に記載の制限があります。
ワークグループ名設定：
ネットワーク参加方法にワークグループを選択したとき、Windows 搭載パソコン (Microsoft ネットワーククライアント) で、LinkStation を所属させるグループ名を入力します。
ドメイン名設定：
ネットワーク参加方法にドメインを選択したとき Microsoft ネットワークのドメイン名を入力します。
PDC ホスト名設定：
PDC(プライマリドメインコントローラ) のホスト名を入力します (ネットワーク参加方法でドメインを選択時のみ)。ドメインでネットワークに参加させるときは、あらかじめ PDC に LinkStation の名称と同一名のコンピュータアカウントを登録しておく必要があります。
WINS サーバ設定：
ネットワーク内に WINS サーバがあるとき、WINS サーバを利用できます。

WINS サーバの IP アドレス：
WINS サーバを利用する場合に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。

■FTP設定

FTPサーバ機能	◉使用する ○使用しない
FTPアクセスユーザ	◉登録ユーザ ○匿名ユーザ
匿名ユーザ公開共有フォルダ	share
匿名ユーザ属性	○読取専用 ◉書込可能

設定

■登録ユーザ公開共有フォルダ設定

	共有フォルダ名	アクセス制限	共有フォルダの説明
□	share		LinkStation Share Folder
□	share-mac		LinkStation Mac Share Folder

設定

FTP サーバ機能：
FTP サーバ機能を使用するかしないかを設定します。

FTP アクセスユーザ：
FTP サーバ機能使用時に匿名でログインするか、LinkStation に登録したユーザ名、パスワードでログインするか選択します (FTP サーバ機能を [使用する] に設定していない場合､選択できません)。
メモ 「登録ユーザ」と「匿名ユーザ」の両方を設定することはできません (どちらか片方の設定でお使いください)。

匿名ユーザ公開共有フォルダ：
匿名ユーザへ公開する共有フォルダを選択します ([匿名ユーザ] に設定していない場合、選択できません)。
メモ LinkStation でアクセス制限された共有フォルダを選択することはできません (表示されません)。

匿名ユーザ属性：
匿名ユーザへ公開する共有フォルダを読取専用にするか書込可能にするか選択します ([匿名ユーザ] に設定していない場合、選択できません)。
メモ 匿名ユーザでアクセスするときの属性は「匿名ユーザ属性」で決定されます。P59「共有フォルダを読取専用にしたいときは」に記載の設定は反映されません。

登録ユーザ公開共有フォルダ設定：
LinkStation に登録したユーザ名、パスワードでログインしたユーザへ公開する共有フォルダを選択します ([登録ユーザ] に設定していない場合、選択できません)。

共有フォルダ設定

■共有フォルダ設定

	共有フォルダ名	利用可能OS	アクセス制限	共有フォルダの説明
○	share	Win/Mac		LinkStation Share Folder
○	share-mac	Mac		LinkStation Mac Share Folder

新規共有フォルダ追加　共有フォルダ情報編集　共有フォルダ削除

メモ 出荷時設定では、Windows/Macintosh 両用フォルダとして「share」、Macintosh 専用フォルダとして「share-mac」が設けられています。どのグループ / ユーザでもアクセスできるように設定されています。

[新規共有フォルダ追加] をクリックすると新規共有フォルダ追加画面になります。
共有フォルダを選択して [共有フォルダ情報編集] をクリックすると共有フォルダ情報編集画面になります。
共有フォルダを選択して [共有フォルダ削除] をクリックすると共有フォルダを削除します。

共有フォルダ名：
共有フォルダの名称 (半角英数字 12 文字まで) を入力します。

共有フォルダの説明：
共有フォルダの説明を入力します。

共有フォルダの公開先：
共有フォルダの公開先 OS を選択します。

アクセス制限機能：
ユーザ / グループごとにアクセス許可 / 禁止の設定をします。ユーザ単位でアクセス制限を設定すると [■共有フォルダ設定] の [アクセス制限] 欄にマークが表示されます。
グループ単位で設定するとマークが表示されます .

ゴミ箱機能：
共有フォルダごとにゴミ箱の設定をします。設定するとマークが表示されます。
設定された共有フォルダの中のファイルを削除すると、共有フォルダ内の [.trash] フォルダにファイルは移動されます。
[.trash] フォルダを見るには、隠しファイルもすべて表示するよう Windows の設定を変更する必要があります。【P89】

メモ　出荷時設定では、汎用グループとして全ユーザが所属する「hdusers」グループが設けられています。編集・削除はできません。

[新規グループ追加] をクリックすると新規グループ追加画面になります。
グループを選択して [グループ情報編集] をクリックするとグループ情報編集画面になります。
グループを選択して [グループ削除] をクリックするとグループを削除します。

グループ名：
グループの名称 (半角英数字 12 文字まで) を入力します。
グループの説明：
グループの説明を入力します。
所属ユーザ選択：
グループに所属させるユーザを選択します。

■ユーザ設定

	ユーザ名	ユーザの説明
ユーザが登録されていません		

[新規ユーザ追加] [ユーザ情報編集] [ユーザ削除]

メモ 出荷時設定では、ユーザは登録されていません。

[新規ユーザ追加] をクリックすると新規ユーザ追加画面になります。
ユーザを選択して [ユーザ情報編集] をクリックするとユーザ編集画面になります。
ユーザを選択して [ユーザ削除] をクリックするとユーザを削除します。

■新規ユーザ追加

ユーザ名	
パスワード(8文字以内)	
パスワード(確認用)	
ユーザの説明	

[設定]

メモ 追加したユーザは自動的に [hdusers] グループに所属します。所属を他のグループに変更したいときは、ユーザグループ設定から行ってください。

ユーザ名：ユーザの名称 (半角英数字 12 文字まで) を入力します。
パスワード (8 文字以内)：LinkStation のアクセスに必要なパスワードを入力します。
パスワード (確認用)：確認のため再度入力します。
ユーザの説明：ユーザの説明を入力します。

⚠注意 Windows のネットワークログイン時のユーザ名、パスワードと同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、アクセス制限を設定した共有フォルダにアクセスできません。

また、WindowsXP/2000 では、ネットワークログイン名が異なっていた場合、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにアクセスはできません。必ずこちらで設定したユーザ名、パスワードで Windows のネットワークにログインしてください。

■ドメインユーザ一覧

ドメインユーザ名	ドメインユーザの説明
12345678901234567890	STORAGEドメインユーザ
Administrator	STORAGEドメインユーザ
Guest	STORAGEドメインユーザ
IUSR_ATHLON	STORAGEドメインユーザ
IWAM_ATHLON	STORAGEドメインユーザ
krbtgt	STORAGEドメインユーザ
TsInternetUser	STORAGEドメインユーザ
use3	STORAGEドメインユーザ
user1	STORAGEドメインユーザ
user2	STORAGEドメインユーザ

LinkStation が取得したドメインユーザ名とその説明が表示されます。

USB設定

■USB情報

USBクラス	製造者	製品名	USB2.0/USB1.1
ストレージ	BUFFALO	BUFFALO USB-IDE Bridge	USB1.1

USB クラス：
接続した USB 機器の分類が表示されます。

製造者：
接続した USB 機器の製造元情報が表示されます。

製品名：
接続した USB 機器のデバイス名が表示されます。

USB2.0/USB1.1：
接続した USB 機器が USB2.0 対応の製品か USB1.1 対応の製品かを表示します。

■USBディスク設定

USBディスクを共有フォルダとして使用	◉使用する	○使用しない
USBディスクでゴミ箱機能を使用	○使用する	◉使用しない

設定

USB ディスクを共有フォルダとして使用：
[使用しない] を選択すると､LinkStation に増設したハードディスクを見えなくすることができます。
見えない状態でもフォーマット、ディスクチェック、バックアップを増設したハードディスクに実行することができます。

USB ディスクでゴミ箱機能を使用：
共有フォルダごとにゴミ箱の設定をします。設定された共有フォルダの中のファイルを削除すると、共有フォルダ内の [.trash] フォルダにファイルは移動されます。
[.trash] フォルダを見るには、隠しファイルもすべて表示するよう Windows の設定を変更する必要があります。【P89】

■プリンタ共有

プリンタ共有機能	◉使用する　○使用しない

LinkStation に接続したプリンタを使用するときは、必ず [使用する] を選択してください。
[使用しない] を選択すると LinkStation に接続したプリンタは認識されません。

■Mac用オプション

機能	設定値
プリンタの種類	PostScript
用紙サイズ	A4(標準)
■レーザープリンタ	
解像度	600x600(標準)
給紙トレイ	自動(標準)
給紙装置	自動(標準)
両面印刷	片面印刷(標準)
用紙方向	縦(標準)
■インクジェットプリンタ	
用紙種類	普通紙(標準)
解像度	360dpi(標準)
印刷品質	フォト(標準)
インク	カラー(標準)

設定

Macintosh で LinkStation をプリントサーバとして使用するときに設定します (Windows では本画面の設定は不要です)。

プリンタの種類：
使用するプリンタの種類を選択します。

■レーザープリンタ

解像度：
出力する解像度を選択します。

給紙トレイ：
給紙トレイを選択します。

給紙装置：
給紙装置を選択します。

両面印刷：
片面、両面を選択します。

用紙方向：
用紙の方向 (縦、横) を選択します。

用紙サイズ：
用紙サイズを選択します。

■インクジェットプリンタ

用紙種類：
用紙の種類を選択します。

解像度：
出力する解像度を選択します。

印刷品質：
印刷する品質を選択します。

インク：
使用するインクのカラーを選択します。

■プリンタジョブの削除

!!注意!!
プリンタジョブの削除を行うと、HD-HGLAN223のすべての印刷データが削除されます。 この操作を取り消すことはできません。

実行　キャンセル

LinkStation のプリンタジョブを削除します。

メンテナンス

■システム状態

LinkStationの名称	HD-HGLAN43A
LinkStationの説明	LinkStation
ファームウェアバージョン	1.14
DHCPクライアント機能	使用する
IPアドレス	192.168.19.101(自動割当)
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	00:07:40:04:74:3A
Microsoftネットワークワークグループ名	WORKGROUP
AppleShareネットワークゾーン名	
FTPサーバ機能	使用する(接続数:0)
NTP機能	使用する(2004/05/14 10:17:51 更新)
HDD全容量	153,124,296 kbytes
HDD使用量	821,624 kbytes
HDD使用率	0.54 %
USBディスク1全容量	19,228,100 kbytes
USBディスク1使用量	4,487,020 kbytes
USBディスク1使用率	23.34 %
USBディスク1フォーマット形式	EXT3
現在時刻	2004/05/14 14:30:46

LinkStation の名称：
ネットワーク上で LinkStation を認識する名前です。

LinkStation の説明：
ネットワーク上の LinkStation の名称を説明です。Windows でのみ表示されます。Macintosh では表示されません。

ファームウェアバージョン：
LinkStation の動作を制御しているプログラムのバージョンです。

DHCP クライアント機能：
DHCP クライアント (IP アドレス自動取得) 機能の有効 / 無効を表示します。

IP アドレス：
LinkStation の IP アドレスです。

サブネットマスク：
LinkStation のサブネットマスクです。

MAC アドレス：
LinkStation の MAC アドレスです。

Microsoft ネットワークワークグループ名：
Windows で LinkStation を所属させたときのグループ名です。
※Microsoft ネットワークドメイン設定時は表示されません。

Microsoft ネットワークドメイン設定：
Windows で LinkStation を所属させたときのドメインです。
※Microsoft ネットワークワークグループ設定時は表示されません。

Microsoft ネットワーク PDC ホスト：
Microsoft ネットワークドメイン設定時のプライマリドメインコントローラホスト名です。
※Microsoft ネットワークワークグループ設定時は表示されません。

AppleShare ネットワークゾーン名：
Macintosh で LinkStation を所属させるゾーン名です。

FTP サーバ機能：
LinkStation の FTP サーバ機能の使用する / しないを表示します。

NTP 機能：
ネットワークを通じて時刻を自動修正する NTP 機能の使用する / しないを表示します。また使用していた場合、時刻を自動修正した日時も表示します。

HDD 全容量：
LinkStation のハードディスク全容量です。
※1kbytes=1024bytes で計算しています。

HDD 使用量：
LinkStation のハードディスク使用量です。

HDD 使用率：
LinkStation のハードディスク使用率です。

USB ディスク 1 全容量：
LinkStation に接続した USB ハードディスクの全容量です。
※1kbytes=1024bytes で計算しています。
※USB ハードディスクを接続し、共有フォルダがマウントされているときのみ表示されます。

USB ディスク 1 使用量：
LinkStation に接続した USB ハードディスクの使用量です。
※USB ハードディスクを接続し、共有フォルダがマウントされているときのみ表示されます。

USB ディスク 1 使用率：
LinkStation に接続した USB ハードディスクの使用率です。
※USB ハードディスクを接続し、共有フォルダがマウントされているときのみ表示されます。

USB ディスク 1 フォーマット形式：
LinkStation に接続した USB ハードディスクのフォーマット形式です。

現在時刻：
LinkStation 内で動いている時計の現在時刻です。

■ネットワーク状態

リンク速度	100Mbps 全二重
イーサネットフレームサイズ	1518 バイト
受信パケット数	717 パケット
受信パケットエラー数	0 パケット
送信パケット数	420 パケット
送信パケットエラー数	0 パケット

リンク速度：
接続している LAN の規格上の通信速度です。

イーサネットフレームサイズ：
一度に転送できる最大データサイズです。

受信パケット数：
受信パケットの数です。

受信パケットエラー数：
受信パケットエラーの数です。

送信パケット数：
送信パケットの数です。

送信パケットエラー数：
送信パケットエラーの数です。

■スリープ設定

スリープ機能	○使用する ◉使用しない

■スリープ条件設定

スリープ開始時刻	0 時 00 分
スリープ復帰時刻	12 時 00 分

!!警告!!

スリープを設定する前にHD-HGLANB05が他のLinkStationのバックアップデバイスとして設定されていないことを確認してください。
バックアップデバイスとして設定されている場合はスリープを設定しないでください。

[設定]

スリープ機能：
LinkStation の電源を時間設定して自動的に電源 ON/OFF したいときは、[使用する] を選択して、[設定] をクリックします。

スリープ条件設定：
[スリープ設定] で [使用する] を選択した際に、自動的に電源を OFF にするスリープ開始時刻と、自動的に電源を ON にするスリープ復帰時刻を設定します。

⚠注意
- **スリープ機能は、スリープ開始時刻になるとすぐに実行しますので、開始時刻前にデータの移動はお控えください。**
- **バックアップとスリープは同時に設定することはできません。**
- **LinkStation のデータバックアップ先に本製品が指定されているときは、スリープ機能を使用しないでください。バックアップが正常に行えません。**

■バックアップ条件設定

→本機からのバックアップ設定

バックアップ機能	◉使用する ○使用しない
バックアップ条件	◉今すぐバックアップを開始する ○毎日基準時刻にバックアップを開始する ○毎週 [日] 曜日の基準時刻にバックアップを開始する
基準時刻	[0] 時 [00] 分
暗号化転送	○使用する ◉使用しない
圧縮転送	○使用する ◉使用しない
上書きバックアップ	○使用する ◉使用しない
差分バックアップ	□使用する

バックアップ機能：

LinkStation 内蔵のハードディスクを時間設定して自動的に USB ハードディスク、またはネットワーク上の LinkStation や TeraStation にバックアップしたいときは、[使用する] を選択して、[設定] をクリックします。

※バックアップ設定が登録されていないと選択できません。

バックアップ条件：

今すぐまたは毎日 / 曜日ごとにバックアップするかを選択します。

基準時刻：

毎日または曜日ごとにバックアップする際のバックアップ開始時刻を選択します。

暗号化転送：

バックアップする際データを暗号化して転送するかしないか選択します。

※暗号化を有効にするとスループットが低下します。

※バックアップ先が USB ハードディスクの場合、[使用しない] にしてください。

圧縮転送：

バックアップする際データを圧縮してから転送するかしないか選択します。

※ネットワーク経由でバックアップをするときに、ネットワーク帯域がせまい場合に、圧縮転送すると転送速度が向上することがあります (データを 1 つのアーカイブにしてバックアップするわけではありません)。

※バックアップ先が USB ハードディスクの場合、[使用しない] にしてください。

上書きバックアップ：

[使用する] を選択した場合、「バックアップ先フォルダ / デバイス」に「_backups」を自動生成します。[使用しない] を選択しが場合、「バックアップ先フォルダ / デバイス」に「yyyymmddhhmm」形式のフォルダを自動生成します。

※バックアップ機能を USB ディスクに対し使用する場合、USB ディスクのフォーマット形式は FAT32 又は LinkStation 用フォーマットである必要があります。また、USB ディスクのフォーマット形式が FAT32 の場合、バックアップ可能な最大ファイルサイズは 2GB となります。

※バックアップ実行中は LinkStation に接続されている LAN ケーブルや、USB ディスクの取り外しは絶対に行わないでください。

※バックアップ実行中は LinkStation の初期化、フォーマット、ディスクチェック、スリープタイマー設定、バックアップ設定、及び共有フォルダ・ユーザグループ・ユーザの追加・編集・削除を行うことができません。

※バックアップでエラーが発生した場合は画面の指示に従い、エラーを解除する必要があります。同名のバックアップ元のデータがあったとき、上書きでバックアップをおこなうか、バックアップファイルを追加していくかを選択します。

差分バックアップ：

バックアップ元、バックアップ先のハードディスク内のファイルの更新時刻（注意参照）を確認し、バックアップ先と異なるデータのみをコピーすることで作業時間を短縮できる機能を使用するか選択します。

※ここでの更新時刻とは、Windows、Mac パソコンで確認できる時刻ではなく、LinkStation が保存時に記録している時刻のことです。

※上書きのみ差分バックアップできます。

←本機へのバックアップ設定

HGLAN_OKUのバックアップフォルダを公開	◉公開する ○公開しない
HGLAN_OKUのバックアップフォルダパスワード	

設定

バックアップフォルダを公開

本 LinkStation のバックアップ先として使用できる共有フォルダは「backups」フォルダのみとなります。「backups」フォルダを共有フォルダとして参照可能な状態にするかを設定します。USB ディスクに保存したデータは「USB 設定」-「USB ディスク設定」で USB ディスクを共有フォルダとして使用してバックアップデータを参照してください。

※バックアップ機能を USB ディスクに対し使用する場合、USB ディスクのフォーマット形式は FAT32 又は LinkStation 用フォーマットである必要があります。また、USB ディスクのフォーマット形式が FAT32 の場合、バックアップ可能な最大ファイルサイズは 2GB となります。

※バックアップ実行中は LinkStation に接続されている LAN ケーブルや、USB ディスクの取り外しは絶対に行わないでください。

※バックアップ実行中は LinkStation の初期化、フォーマット、ディスクチェック、スリープタイマー設定、バックアップ設定、及び共有フォルダ・ユーザグループ・ユーザの追加・編集・削除を行うことができません。

※バックアップでエラーが発生した場合は画面の指示に従い、エラーを解除する必要があります。

バックアップフォルダパスワード

本 LinkStation の「backups」フォルダにパスワードを設定します。

ネットワーク経由で他の Link/TeraStation から本 LinkStation にバックアップするとき、誤ってバックアップ先に選択されないようにすることができます。

バックアップ設定：

バックアップ元、バックアップ先のフォルダ、ハードディスクを選択します。

■Link/TeraStation一覧

名称	IPアドレス	スリープ設定
09MR_TS-TGL	192.168.19.121	未設定 / 非対応
TS-TGLDDA	192.168.19.174	未設定 / 非対応

名称：
ネットワークにある Link/TeraStation の名称一覧を表示します。

IP アドレス：
Link/TeraStation の IP アドレス一覧を表示します。

スリープ設定：
スリープ設定をしているかいないかを表示します。

■バックアップ先検索用パスワード

バックアップ先検索用パスワード

設定

バックアップ先検索用パスワード：
ネットワーク経由で他の Link/TeraStation の共有フォルダをバックアップ先にしたい場合に入力します。
他の Link/TeraStation で共有フォルダに設定されているパスワードと、この項目で入力するパスワードを同一にしなければ、パスワード設定されている共有フォルダへのバックアップはできません。

■手動検索対象IPアドレス

検索対象IPアドレス

検索対象IPアドレスの追加

■検索対象IPアドレス一覧

192.168.11.1

検索対象IPアドレスの削除

手動検索対象 IP アドレス / 検索対象 IP アドレス一覧：
一覧に表示されない Link/TeraStation があった場合、または異なるネットワークセグメントに存在する Link/TeraStation を追加する場合は、Link/TeraStation の IP アドレスを入力し、[検索対象 IP アドレスの追加] をクリックします。追加した Link/TeraStation を選択し [検索対象 IP アドレスの削除] をクリックすると、登録を削除できます。

■ディスクチェック

チェック対象ディスクの選択	内蔵HDD
チェック内容選択	通常チェック

!!警告!!

ディスクチェックを実行する前にHD-HGLANB05が他のLinkStationのバックアップデバイスとして設定されていないことを確認してください。
バックアップデバイスとして設定されている場合はディスクチェックを実行しないでください。

選択　キャンセル

LinkStation および USB コネクタに増設したハードディスクをチェックします。使用している容量によってチェックに必要な時間は異なります (数十分間〜数十時間)。

⚠注意 ・スリープ・バックアップを設定しているときは、ディスクチェックは実行できません。
・LinkStation のデータバックアップ先に本製品が指定されているときは、ディスクチェックは行わないでください。バックアップが正常に行えません。

■フォーマット

フォーマット対象ディスクの選択	内蔵HDD

!!警告!!

フォーマットを実行する前にHD-HGLANB05が他のLinkStationのバックアップデバイスとして設定されていないことを確認してください。
バックアップデバイスとして設定されている場合はフォーマットを実行しないでください。
またフォーマットを実行すると、保存されているバックアップデータも消去されます。
フォーマットを実行する前にバックアップデータの有無を必ず確認してください。

選択　キャンセル

LinkStation および USB コネクタに増設したハードディスクをフォーマットします。フォーマットを実行すると、データは全て消去されます。大切なデータを失うことのないようご注意ください。ハードディスクの容量によってフォーマットに必要な時間は異なります (数分間)。

⚠注意 ・スリープ・バックアップを設定しているときは、フォーマットは実行できません。
・LinkStation のデータバックアップ先に本製品が指定されているときは、フォーマットを行わないでください。バックアップが正常に行えません。またフォーマットを実行するとバックアップデータも全て消去されます。ご注意ください。

■管理者パスワード設定

管理者名	root(変更することはできません)
旧管理者パスワード	
新管理者パスワード	
再入力(確認用)	

設定

管理者名：
LinkStation を設定するためのユーザ名 (変更不可) です。
旧管理者パスワード：
LinkStation を設定するためのパスワード (出荷時には未設定です) を入力します。
新管理者パスワード：
新しいパスワード (半角英数字) を入力します。
再入力 (確認用)：
確認のため、再度新しいパスワードを入力します。

■シャットダウン

LinkStationの電源を切る	実行

LinkStation の電源を切る：
[実行] をクリックして LinkStation の電源を切ることができます。

メモ
- 設定画面から LinkStation の電源を ON にすることはできません。電源を ON にするときは、LinkStation の電源スイッチを押してください。
- スリープ機能設定画面でスリープ復帰時刻を設定しておくと、自動的に LinkStation の電源を ON にすることもできます。【P52】

設定の手順例

設定の手順の例を説明します。

LinkStation の名称（ホスト名）の変更

1　P40 の手順で設定画面を表示します。

2

3　[LinkStation の名称設定] をクリックします。

4

以上で LinkStation の名称 (ホスト名) の変更は完了です。

共有フォルダの作成

1　P40 の手順で設定画面を表示します。

2

3　[共有フォルダ設定] をクリックします。

次のページへ続く

4 新規共有フォルダ追加 をクリックします。

5

① 新しく作成する共有フォルダの名称 (半角英数字 12 文字まで) を入力します。
② 共有フォルダの説明を入力します。
③ 共有フォルダを使用するOSを選択します。
④ [設定] をクリックします。

以上で新しい共有フォルダの作成は完了です。

共有フォルダのデータを誤って消去しないために (ゴミ箱機能の使用)

上記設定画面で共有フォルダごとにゴミ箱機能の設定ができます (Mac OS AppleTalke 接続時は使用できません)。OS のゴミ箱と同じように、共有フォルダ内の削除されたデータは一時的にゴミ箱 [.trash] フォルダに移動されます。削除したデータを元に戻したいときは、[.trash] フォルダを開いてファイルを移動させてください。

⚠注意
- ゴミ箱 [.trash] フォルダを見るには、隠しファイルもすべて表示するよう Windows の設定を変更する必要があります。【P89】
- フォルダごと削除した場合、ゴミ箱にはファイルが個々に展開されます。削除する前のフォルダ情報は失われます。

共有フォルダを読み取り専用にしたいときは

共有フォルダを以下の手順で読み取り専用にすることもできます。

1 P40 の手順で設定画面を表示します。
2 [共有フォルダ] タブをクリックします。
3 [共有フォルダ設定] をクリックします。
4 読み取り専用にしたい共有フォルダを選択し、[共有フォルダ情報編集] をクリックします。
5 [共有フォルダの属性] を [読取専用] に変更し、[設定] をクリックします。
※初期設定は [書込可能] に設定されています。

以上で設定の変更は完了です。

アクセス制限の設定

LinkStation は、アクセスできるフォルダを設定できます。大切なデータを公開したくないときなどに設定ください。

アクセス制限は、ユーザ / グループ単位で設定できます。
ユーザ単位でアクセス制限をしたいときは次の手順で行ってください。

メモ Microsoft ネットワークドメインでログオンしたときは、ドメインに登録されたユーザ名でアクセス制限を設定することができます。

<< ユーザ単位でアクセスを制限したいとき >>

ユーザを作成する [ユーザ設定]

▼

共有フォルダごとにアクセス可能なユーザを設定する [共有フォルダ設定]

1 P40 の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ設定] をクリックします。

3 [ユーザ設定] をクリックします。

4 新規ユーザ追加 をクリックします。

5 ① ユーザ名(半角英数字12文字まで)を入力します。

⚠注意 ユーザ名には使用できない文字があります。P5 にてご確認ください。

② パスワードを入力します。

③ 説明を入力します。

④ [設定] をクリックします。

⚠注意 Windows のネットワークログイン時のユーザ名、パスワードと同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、アクセス制限を設定した共有フォルダにアクセスできません。

また、WindowsXP/2000 では、ネットワークログイン名が異なっていた場合、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにアクセスはできません。必ずこちらで設定したユーザ名、パスワードで Windows のネットワークにログインしてください。

次のページへ続く

6

[共有フォルダ設定] をクリックします。

7 [共有フォルダ設定] をクリックします。

8

① アクセス制限する共有フォルダを選択します。

② [共有フォルダ情報編集] をクリックします。

メモ 共有フォルダを新規に作成したいときは、P58 を参照してください。

9

① [使用する] をクリックします。

② [次へ] をクリックします。

10

① アクセスを許可するユーザにチェックマークがあることを確認します。許可しないグループはクリックしてチェックマークを外してください。

② [設定] をクリックします。以降は画面の指示にしたがって操作します。

※ ユーザとグループで同時にアクセス制限することもできます。

※ Microsoft ネットワークドメインでログオンしたときは、[アクセス可能ドメインユーザ] の一覧が追加表示されます。ドメインユーザ名でアクセス制限することもできます。Micosoft ネットワークドメインでログオンするには、[ドメイン名設定]、[PDC ホスト名設定] を設定する必要があります。【P44】

以上でユーザ単位でのアクセス制限の設定は完了です。

グループ単位でアクセス制限をしたいときは次の手順で行ってください。

<< グループ単位でアクセスを制限したいとき >>

ユーザを作成する [ユーザ設定]

▼

グル ープを作成し、ユーザをグループに所属させる [ユーザグループ設定]

▼

共有フォルダごとにアクセス可能なグループを設定する [共有フォルダ設定]

1 P60 の 1 ～ 5 の手順でユーザを作成します。

2

[共有フォルダ設定] をクリックします。

3 [ユーザグループ設定] をクリック表示します。

4 新規グループ追加 をクリック表示します。

5

① 新しく作成するグループの名称 (半角英数字 12 文字まで) を入力します。

⚠注意 グループ名には使用できない文字があります。P5 にてご確認ください。

② 新しく作成するグループの説明を入力します。

③ グループに所属させるユーザをクリックし、チェックマークを表示させます。

④ [設定] をクリックします。

次のページへ続く

6

[共有フォルダ設定] をクリックします。

7 [共有フォルダ設定] をクリックします。

8

① アクセス制限する共有フォルダを選択します。

② [共有フォルダ情報編集] をクリックします。

メモ 共有フォルダを新規に作成したいときは、P58 を参照してください。

9

① [使用する] をクリックします。

② [次へ] をクリックします。

10

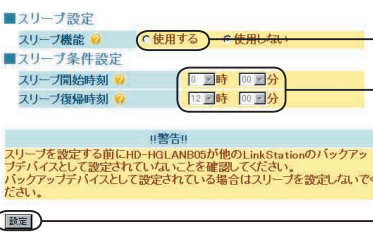
① アクセスを許可するグループにチェックマークがあることを確認します。許可しないグループはクリックしてチェックマークを外してください。

② [設定] をクリックします。以降は画面の指示にしたがって操作します。

※ ユーザとグループで同時にアクセス制限することもできます。
※ Macintosh ユーザや FTP ユーザに対してのアクセス制限を設定するときは、ユーザ単位で設定してください【P60】。グループ単位で設定すると、アクセス制限した共有フォルダにアクセスできないことがあります。

以上でグループ単位でのアクセス制限の設定は完了です。

スリープ機能を使用する

1 P40 の手順で設定画面を表示します。

2 [メンテナンス] をクリックします。

3 [スリープ設定] をクリックします。

4

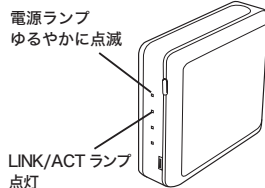
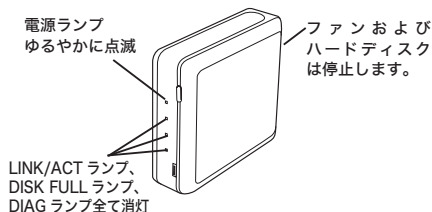
① [使用する] をクリックします。

② 電源を OFF にするスリープ開始時刻、電源をONにするスリープ復帰時刻を設定します。

③ [設定] をクリックします。

以上でスリープの設定は完了です。

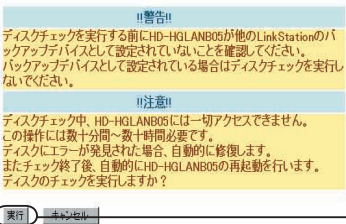
注意 設定した時刻になると強制的に LinkStation の電源が OFF になります。
設定した時刻に LinkStation にアクセスしないようご注意ください。
データの保存中 (またはコピー中) の場合、データが消失します。

メモ スリープ設定時、スリープ中は次のようにランプが点灯します。

LinkStation のハードディスクをチェックする

⚠注意 ・LinkStation および USB コネクタに増設したハードディスク内のデータをチェックします。異常があったときには自動的に修復します。チェックには数十分間〜数十時間かかります。
・チェック中は LinkStation の共有フォルダを利用できません。
・チェック中は LinkStation の電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。

1 P40 の手順で設定画面を表示します。

2
[メンテナンス] をクリックします。

3 [ディスクチェック] をクリックします。

4
① チェックを行うハードディスクとチェック内容を選択します。

② [選択] をクリックします。

5

!!警告!!

ディスクチェックを実行する前にHD-HGLANB05が他のLinkStationのバックアップデバイスとして設定されていないことを確認してください。
バックアップデバイスとして設定されている場合はディスクチェックを実行しないでください。

!!注意!!

ディスクチェック中、HD-HGLANB05には一切アクセスできません。
この操作には数十分間~数十時間必要です。
ディスクにエラーが発見された場合、自動的に修復します。
またチェック終了後、自動的にHD-HGLANB05の再起動を行います。
ディスクのチェックを実行しますか？

実行　キャンセル

③ [実行] をクリックします。以降は画面の指示にしたがって操作します。

チェック中は、LinkStation の DISK FULL ランプが点滅しています。チェックが終わると自動的に LinkStation が再起動します (電源ランプが点滅します)。

6 電源ランプが点滅から点灯に変わったら、[TOP] をクリックします。

以上でハードディスクのチェックは完了です。

LinkStation のハードディスクをフォーマットする

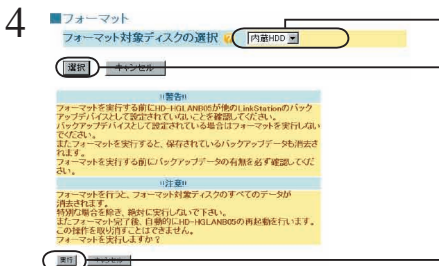
⚠注意 ・LinkStation および USB コネクタに増設したのハードディスクのデータ、共有フォルダに関する設定が全て消去されます。誤って実行しないようご注意ください。フォーマットには数分かかります。
・フォーマット中は LinkStation の共有フォルダを利用できません。
・フォーマット中は LinkStation の電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。

1 P40 の手順で設定画面を表示します。

2

[メンテナンス] をクリックします。

3 [フォーマット] をクリックします。

4

① フォーマットを行うハードディスクを選択します。
② [選択] をクリックします。
③ [実行] をクリックします。以降は画面の指示にしたがって操作します。

フォーマット中は、LinkStation の DISK FULL ランプが点滅しています。フォーマットが終わると自動的に LinkStation が再起動します (電源ランプが点滅します)。

メモ フォーマットの所要時間はハードディスクの容量によって異なります。

80GB：約 2 分
120GB: 約 2 ～ 3 分
160GB: 約 3 ～ 4 分
250GB: 約 4 ～ 5 分

左記の数値は、[内蔵 HDD] を選択して、[実行] をクリックしてからフォーマットの完了、および LinkStation が再起動を完了するまでの時間のめやすです。[USB ディスク] を選択した場合、数時間～数十時間必要です。

5 電源ランプが点滅から点灯に変わったら、[TOP] をクリックします。

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

LinkStation の管理者パスワードを変更する

1　P40 の手順で設定画面を表示します。

2　[メンテナンス] をクリックします。

3　[管理者パスワード設定] をクリックします。

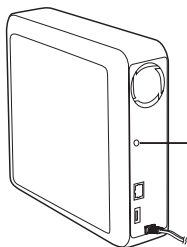
4

① 旧管理者パスワード (出荷時設定は空白)、新管理者パスワード、再度新管理者パスワードを入力します。

② [設定] をクリックします。

以上で管理者パスワードの設定は完了です。

設定の初期化手順

LinkStation の設定を出荷時に戻したいときは、LinkStation 動作時 (電源ランプ点灯) に背面の初期化スイッチを押してください。

初期化スイッチ
ボールペンの先などで 3 秒間押し続けると、本製品の設定内容が出荷時設定に変更されます。

メモ　初期化される設定は、次の通りです。

LinkStation 名称 / 説明、NTP 機能、IP アドレス、WINS サーバの IP アドレス、ユーザ / グループ、ワークグループ名 / ドメイン名、管理者パスワード、共有フォルダの説明 / ゴミ箱機能 / アクセス制限、バックアップ / スリープ設定、PCast、その他 LinkStation のバックアップフォルダを非公開に、USB HDD を公開に設定されます。

※ハードディスクにあるデータ、およびフォルダは初期化されません。データやフォルダを消去したいときは、P66 を参照してフォーマットしてください。

バックアップ

パソコンのデータをバックアップする (WindowsXP/2000/Me/98SE/98)

パソコンのデータを LinkStation にバックアップするときは、簡単バックアップのマニュアルを参照して簡単バックアップを使用してください。マニュアルを読むには、簡単セットアップで [簡単バックアップのマニュアルを見る] を選択して、[開始] をクリックします。

LinkStation のデータをバックアップする

LinkStation の設定画面で､LinkStation の共有フォルダ単位でバックアップを行うことができます。

●バックアップを設定する

1 [メンテナンス]-[バックアップ設定] をクリックします。

メモ ネットワーク上の Link/TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2 ① バックアップ元とバックアップ先フォルダを選択し、[バックアップ設定の追加] をクリックします。

メモ
- バックアップ元フォルダには第二階層のフォルダまで登録できます。ただし、共有フォルダ名を含め、80 文字以上のフォルダは選択できません。
- 同一ネットワーク外にある Link/TeraStation をバックアップ先として設定する場合は、あらかじめ P69 の手順でバックアップ先として設定してください。
- LinkStation の USB コネクタに接続したハードディスクが FAT32/16 形式でフォーマットされている場合、次の制限があります。

  共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。LinkStation のバックアップ先としてお使いください。

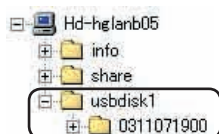
  1 ファイル 2GB 以上のデータはバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

  MacOS X で自動作成されたファイル (.DS_Store など）がある場合は、ファイル名に FAT16/32 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません（エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

② P53 に記載のバックアップ設定項目 (実行日、実行時刻など) を選択し、[設定] をクリックします。

③ [設定] をクリックします。

●バックアップ先のフォルダを開くには

バックアップ先のフォルダを開くには次の手順で行います。

エクスプローラーなどでバックアップ先に指定したフォルダを開きます。バックアップした日時のフォルダ名で保存されています。

例：2003年11月7日19時00分バックアップ→フォルダ名「0311071900」

※上書きバックアップ時は、日時のフォルダ名ではなく、[_backups]フォルダに保存されています。

●他のLink/TeraStationをバックアップ先にするときの設定

バックアップ公開用(検索用)パスワードを設定している場合

バックアップ先の共有フォルダにパスワードを設定している場合、パスワードを入力しないとバックアップ先として選択することはできません。バックアップを行う前に次の手順でパスワードを入力してください。

1 [メンテナンス]-[Link/TeraStation一覧]をクリックします。

※ネットワーク上のLink/TeraStationを検索するため、画面の表示には10秒程度必要です。

2

バックアップ先のLink/TeraStationに設定したバックアップフォルダパスワードを入力します。

検索時に見つかるバックアップ先フォルダは、パスワードが未設定のフォルダと、認証パスワードが一致したフォルダです。

本LinkStationのbackupsフォルダをバックアップ先とする場合、[メンテナンス]-[バックアップ設定]で、backupsフォルダの公開/非公開、公開用(検索用)パスワードを設定することもできます。

① [公開する]をクリックしチェックマークを表示させます。

※ ネットワーク経由で他のLinkStationからのバックアップ先にするときは、パスワードを設定することもできます。パスワードを設定したくないときは何も入力しないでください。

② [設定]をクリックします。

次のページへ続く

ルータを越えたLink/TeraStationやVPNで接続されたネットワークのLink/TeraStationにバックアップしたい場合

ルータを越えたLink/TeraStationやVPNで接続されたネットワークのLink/TeraStationにバックアップするときは、バックアップを行う前に次の手順でLink/TeraStationのIPアドレスを入力してください。

1 [メンテナンス]-[Link/TeraStation一覧]をクリックします。

※ネットワーク上のLink/TeraStationを検索するため、画面の表示には10秒程度必要です。

2 バックアップ先のLink/TeraStationのIPアドレスを入力し、[検索対象IPアドレスの追加]をクリックします。

メモ [メンテナンス]-[Link/TeraStation一覧]では、ネットワークにあるLink/TeraStationの一覧が表示されます。一覧画面では、Link/TeraStation名とスリープ設定されているかを確認することができます。

以下の条件の方は上記の設定は必要ありません。P68の手順でバックアップを行ってください。

- バックアップ先に他のLink/TeraStationを使用しない
- バックアップ先のLink/TeraStationに検索バックアップ公開用パスワードを設定していない
- バックアップ先にルータを越えたLink/TeraStationやVPNで接続されたネットワークのLink/TeraStationを使用しない

注意 ・Link/TeraStationのデータを他のLink/TeraStationにバックアップするときは、2つのLink/TeraStationのイーサネットフレームサイズを同じ値に設定してください。【P44】イーサネットフレームサイズが異なる場合、正常にバックアップできないことがあります。

FTP サーバ機能を使うとき

LinkStation を FTP サーバとして使用したいときは、次の手順で行います。

メモ　FTP サーバ機能は、既に FTP クライアントソフトウェアを持っていて、FTP サーバを利用したことがある方を対象にしています。通常はFTPサーバ機能を使用する必要はありません。

1　P40 の手順で設定画面を表示します。

2　[ネットワーク設定] をクリックします。

3　[FTP 設定] をクリックします。

Anonymous(匿名) で FTP サーバ機能を使用したいとき

※簡易的な FTP サーバとして使用するときに便利です。

① [使用する] をクリックします。
② [匿名ユーザ] をクリックします。
③ FTP で公開する共有フォルダを選択します。
④ 読取専用にするか書込可能にするかを選択します。
⑤ [設定] をクリックします。

以上で FTP サーバ機能の設定は完了です。

FTP クライアントソフトウェアで LinkStation にアクセスするには

別途 FTP クライアントソフトウェアを用意し、以下の項目を設定してください .
- ホスト名　LinkStation の IP アドレス (P40)
- ユーザ名　anonymous
- パスワード　お客様の電子メールアドレス

※ FTP クライアントソフトウェアの使い方についてはソフトウェアのヘルプを参照ください。
※ LinkStation に接続した USB ハードディスクは、FTP で見ることはできません。
※インターネットに FTP サーバを公開したいときは、ルータに付属のマニュアルをよく読みファイアウォールおよびセキュリティ設定を必ずしてください。

次のページへ続く

LinkStation に登録したユーザ名、パスワードで FTP サーバ機能を使用したいとき

以上で FTP サーバ機能の設定は完了です。

FTP クライアントソフトウェアで LinkStation にアクセスするには

別途 FTP クライアントソフトウェアを用意し、以下の項目を設定してください .

・ホスト名　LinkStation の IP アドレス (P40)
・ユーザ名　LinkStation に登録しているユーザ名 (P60)
・パスワード LinkStation に登録しているパスワード (P60)

※FTP クライアントソフトウェアの使い方についてはソフトウェアのヘルプを参照ください。
※LinkStation に接続した USB ハードディスクは、FTP で見ることはできません。
※LinkStation の設定で共有フォルダが読取専用になっていた場合、FTP でも書き込むことはできません。
※LinkStation の設定でアクセスが禁止されているユーザ名からは FTP でもアクセスできません。
※ドメインでネットワークに参加している場合、ドメインユーザは FTP で LinkStation にアクセスすることはできません。
※インターネットに FTP サーバを公開したいときは、ルータに付属のマニュアルをよく読みファイアウォールおよびセキュリティ設定を必ずしてください。

ドメインでネットワークに参加させるとき

LinkStation をドメインでネットワークに参加させるときは、次の手順で行います。

メモ ここで説明する手順は、ネットワーク管理者を対象にしています。設定を行うには、Microsoft ネットワークドメインについて、ある程度精通している必要があります。

1 ドメインコントローラ上で LinkStation のコンピュータアカウントを作成します。

※「Windows2000 以前のコンピュータにこのアカウントを許可」のチェックボックスがある場合は、チェックを入れてください。

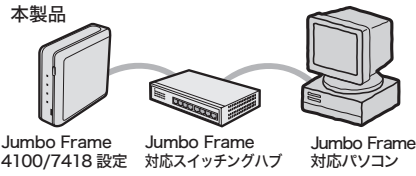
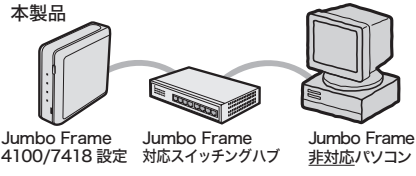
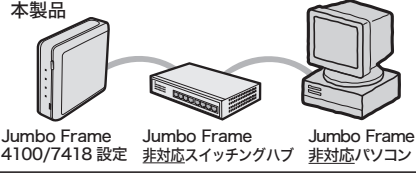
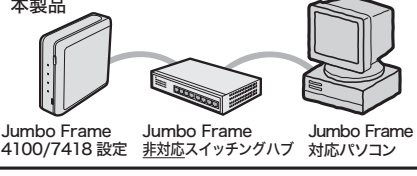
2 LinkStation の設定画面で [ネットワーク設定]-[ワークグループ / ドメイン設定] をクリックします。

3

4 取得されたユーザ情報が表示されたら、内容を確認して [設定] をクリックします。

注意 ・LinkStation の名称 (P42) を変更すると、ドメインでネットワークに参加できなくなります。その場合は、上記の手順を再度行ってください。

・LinkStation に追加されるドメインユーザは、LinkStation がドメインでネットワークに参加した時点のものです。その後、ドメインコントローラ上でユーザ設定が変更されても、LinkStation には反映されません。変更された情報を反映するには、LinkStation のコンピュータアカウントをリセットして上記の手順 2 以降を再度実行してください。

メモ ・取得したドメインユーザー覧は、LinkStation の [共有フォルダ設定]-[ドメインユーザ一覧] 画面 (P48) で確認できます。

・取得したドメインユーザで共有フォルダのアクセス制限をすることができます。

以上で設定は完了です。

Jumbo Frame で転送するとき

転送の効率を向上させたいときは、P44 に記載の設定画面でイーサネットフレームサイズ (1 回で転送できるデータの最大サイズ) を Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) に変更してください。

⚠注意
- Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用して、LinkStation にハブを接続する場合、Jumbo Frame 非対応のスイッチングハブは使用しないでください。使用するとデータの転送ができなくなります。
- Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用するには、パソコン (LAN アダプタ) および通信経路上の機器 (スイッチングハブなど) が Jumbo Frame に対応している必要があります。非対応の機器があったときは、通常 (1518bytes) の転送が行われます。

接続機器	対応	
本製品 Jumbo Frame 4100/7418 設定 Jumbo Frame 対応スイッチングハブ Jumbo Frame 対応パソコン	○	Jumbo Frame (4100bytes/7418bytes) で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418 設定 Jumbo Frame 対応スイッチングハブ Jumbo Frame 非対応パソコン	△	通常 (1518bytes) で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418 設定 Jumbo Frame 非対応スイッチングハブ Jumbo Frame 非対応パソコン	△	通常 (1518bytes) で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418 設定 Jumbo Frame 非対応スイッチングハブ Jumbo Frame 対応パソコン	×	転送することはできません。ご注意ください。

5 付録

出荷時設定

LinkStation は出荷時に以下のように初期設定されています。

●管理者名：root(変更不可)

●パスワード：設定されていません。

●共有フォルダ：share(Windows & Macintosh 共用)、share-mac(Macintosh 専用)
※共有フォルダのゴミ箱機能は「未使用」に設定されています。

●DHCP クライアント
DHCP サーバがネットワーク内にある場合は自動取得します。
DHCP サーバがネットワーク内に無い場合は、次のように自動設定されます。
IP アドレス：192.168.11.150
ネットマスク：255.255.255.0

●登録グループ
初期設定にて既に LinkStation には、デフォルトグループ (hdusers) が登録されています。
編集、削除はできません。

●Microsoft ネットワークワークグループ設定
WORKGROUP
※簡単セットアップを実行すると、設定を行うパソコンのワークグループと同じワークグループになります。)

●AppleShare ネットワークゾーン設定
なし (空白)

●イーサネットフレームサイズ
1518bytes

●FTP サーバ機能
使用しない

●時刻
2003 年 11 月 1 日
※簡単セットアップを実行すると、設定を行うパソコンの時刻に更新されます。

●NTP 機能
使用しない

●USB ディスク (共有フォルダとして)
使用する
※ USB ディスクのゴミ箱機能は「未使用」に設定されています。

●プリンタ共有機能
使用する

●バックアップフォルダ
非公開

メモ 出荷時設定に戻すときは、P67「設定の初期化手順」を参照ください。

困ったときは

メモ 最新の Q&A の情報は、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

LinkStation を設定するためのパスワードを忘れた

LinkStation 背面の設定初期化スイッチを押すことで出荷時設定に戻すことができます。【P67】
出荷時設定に戻した後に再度パスワードの設定を行ってください。
※初期化スイッチを押すとパスワード以外の設定も初期化されます。

Macintosh と Windows で共有したファイルやフォルダ名に文字化けが発生する

Macintosh と Windows で共有するときは､全角文字が正常に表示されないことがあります。【P5】

Macintosh でファイルが見えない

Macintosh では半角 32 文字以上の名前のファイルを見ることはできません。Windows と Macintosh でファイル共有するときは半角文字 32 文字以内にしてください。
またファイルの容量が 2GB 以上の場合も、Macintosh で見えないことがあります。

ファイルの操作 (コピー / 消去 / 移動) ができなくなった

ファイル名が非常に長いと OS によっては、ファイルの操作ができないことがあります。

共有フォルダやファイルに属性を設定できない

LinkStation に作成した共有フォルダやファイルに属性 (隠し / 読取専用) を設定することはできません。

作成した覚えのないファイルが生成されている

Macintosh からアクセスされた共有フォルダには情報ファイルが自動的に生成されることがあります。これらを Windows から削除した場合、Macintosh からアクセスできなくなることがありますのでご注意ください。

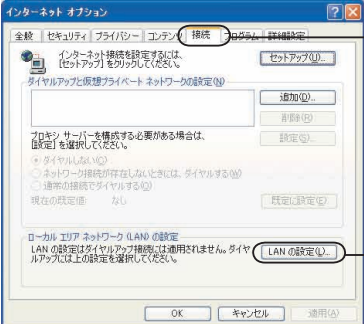
LinkStation が DHCP クライアントとして動作していない

LinkStation の電源スイッチを ON にしてから LAN ケーブルを接続すると固定 IP アドレス (出荷時 192.168.11.150) で LinkStation は動作します。
LAN ケーブルを接続してから LinkStation の電源スイッチを ON にしてください。

LinkStation に内蔵されているハードディスクの回転が停止しない

LinkStation には、30 分アクセスがないと自動的にハードディスクの回転を停止する機能がありますが、次の環境では回転が停止しないことがあります。

・一部のパソコン (Macintosh など) で共有フォルダをマウントしていると、定期的にハードディスクにアクセスするため回転が停止しないことがあります。
・LinkStation にプリンタを接続している場合、プリンタと通信しているため回転が停止しないことがあります。

ブラウザで設定画面を表示できない、正常に表示されない

・LAN ケーブルが接続されていない
LinkStation の LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

・LinkStation の電源が OFF になっている
LinkStation の電源ランプが点灯しているかご確認ください。点灯していないときは、電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを押してください。

・パソコンがネットワークに接続されていない
設定を行うパソコンがネットワークに接続されているかご確認ください。LinkStation がネットワークに接続されていても、パソコンもネットワークに接続されていないと設定画面は表示されません。

・ネットワークアダプタが正常にインストールされていない
ネットワークアダプタのマニュアルを参照してドライバを再インストールしてください。

・「HDD エラー」と表示され、何も設定ができない
画面の指示に従って LinkStation を再起動してください。再起動しても同じ画面が表示されるときは、画面の指示に従ってハードディスク情報の再構成、またはフォーマットしてください。

・ブラウザの設定で、プロキシが有効に設定されている
ブラウザのヘルプを参照してプロキシを使用せずに直接接続するように設定を変更してください。

ここでは、Internet Explorer6 のプロキシを無効にする設定例を説明します。

< Internet Explorer6 の例 >

1 Internet Explorer を起動します。

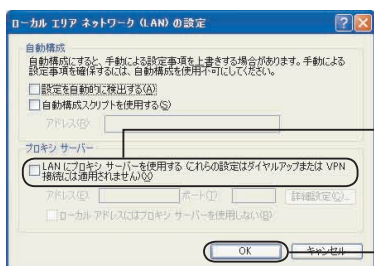
2 メニューから [ツール]-[インターネットオプション] を選択します。

3

① [接続] をクリックします。

② [LAN の設定] をクリックします。

次のページへ続く

4

① [プロキシ サーバー] のチェックボックスにチェックマークが無いことをご確認ください。チェックマークがあるときは、クリックしてチェックマークを消してください (※)。

② [OK] をクリックします。

以上でプロキシを無効にできました。

プロバイダの指示でプロキシを有効にしなければ、インターネットを閲覧できないときは、LinkStation の設定を完了した後に、プロキシを有効に戻してください。

※ [プロキシサーバー] のチェックマークを外したくないときは

1.[プロキシサーバー] 欄の [詳細] をクリックします。

2.[次で始まるアドレスにはプロキシを使わない] 欄に P40 手順 2 で確認できる LinkStation の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

LinkStation の DIAG ランプが点滅したままの状態が続く

LinkStation に異常があるとき DIAG ランプが点滅した状態のままになります。点滅は、電源 OFF 時に電源スイッチを押すまで繰り返されます。点滅のしかたによって異常の種類が分かります。

3 回連続点滅を繰り返す：
ハードディスクのパーティションに異常があります。設定画面の指示に従ってハードディスク情報の再構成、またはフォーマットしてください。完了後、LinkStation は自動的に再起動します。

4 回連続点滅を繰り返す：
ファンに異常があります。
ファンの通風に邪魔になっているものがないかご確認ください。ファンが停止していると LinkStation は起動しません。ご確認後も再現するときは修理センターへお送りください。
【別紙「はじめにお読みください」】

5 回連続点滅を繰り返す：
Flash ROM の内容 (データ) に異常があります。
電源スイッチを押して LinkStation を再起動しても再現するときは修理センターへお送りください。
【別紙「はじめにお読みください」】

6 回連続点滅を繰り返す：
ハードディスクが正常に認識されていません。
電源スイッチを押して LinkStation を再起動しても再現するときは、修理センターへお送りください。
【別紙「はじめにお読みください」】

7 回連続点滅を繰り返す：
RAM・LAN・ハードディスクコントローラーに異常があります。
電源スイッチを押して LinkStation を再起動しても再現するときは修理センターへお送りください。
【別紙「はじめにお読みください」】

※DIAG ランプは、設定初期化時、ファームウェアアップデート時に電源ランプ、DISK FULL ランプと同時に点滅します。設定初期化時、ファームウェアアップデート時は、絶対に電源スイッチを OFF にしないでください。

IP 設定ユーティリティなどで LinkStation が認識できない

・付属ユーティリティのバージョンが古い
最新のユーティリティを弊社ホームページ (buffalo.jp) からダウンロードし、インストールしてください。バージョンが古いと最新の OS に対応していないことがあります。

・LAN ケーブルが接続されていない
LinkStation の LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

・LinkStation の電源が OFF になっている
LinkStation の電源ランプが点灯しているかご確認ください。点灯していないときは、電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを押してください。

・パソコンがネットワークに接続されていない
設定を行うパソコンがネットワークに接続されているかご確認ください。LinkStation がネットワークに接続されていても、パソコンもネットワークに接続されていないと設定画面を表示させることはできません。

・ネットワークアダプタが正常にインストールされていない
ネットワークアダプタのマニュアルを参照してドライバを再インストールしてください。

・LinkStation の IP アドレスと他のネットワーク機器の IP アドレスが競合している
お使いのネットワークに DHCP サーバが無い場合、LinkStation の IP アドレスは 192.168.11.150 に固定されます。この IP アドレスが他の機器で使用していると認識できません。

ここでは、パソコン本体の IP アドレスを確認する手順を説明します。同じ IP アドレスが使用されていたときは、別のパソコンから P26 を参照して LinkStation の IP アドレスを変更してください。

< WindowsXP/2000/NT4.0 での IP アドレス確認手順例 >

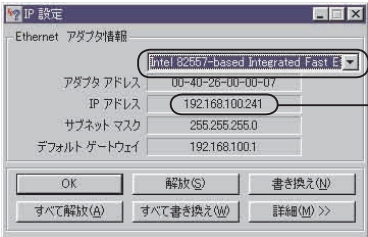
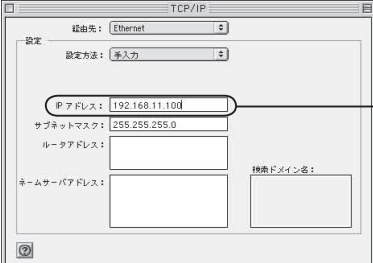
1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

WindowsXP/2000：[スタート]-[(すべての) プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト] を選択します。
WindowsNT4.0：　[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト] を選択します。

2 画面に「C:¥>」と表示されます。

「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

3 「IP Adress」欄に、IP アドレスが表示されます。

```
Ethernet adapter ローカルエリア接続
IP address                  : 192.168.0.2 ―― パソコンの IP アドレス
Subnet Mask                 : 255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix :
```

< WindowsMe/98SE/98/95 での IP アドレス確認手順例 >

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。

2 「WINIPCFG」と入力し、[OK] をクリックします。

3

< Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 での IP アドレス確認手順例 >

1 アップルメニューから [コントロールパネル]-[TCP/IP] をクリックします。

2

IP アドレスが表示されます。

< Mac OS X 10.0.4 での IP アドレス確認手順例 >

1 [アップルメニュー]-[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

5
付録

< Mac OS X 10.3 ～ 10.4 での IP アドレス確認手順例 >

1 [アップルメニュー]-[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

[内蔵 Ethernet] を選択します。

4

IP アドレスが表示されます。

・Windows またはソフトのファイアウォール機能がはたらいている
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、LinkStation が認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。

【Windows のファイアウォール機能の場合】
Windows によっては、ファイアウォールの設定によって付属のユーティリティが使用できないことがあります。ファイアウォール機能を無効にしてください。設定の変更手順は Windows によって異なります。詳しくは Windows のヘルプをご参照ください。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター 2004 がインストールされている場合】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。

1. ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［トレンドマイクロウィルスバスター 2004］－［メイン画面］を選択します。
2. 右側にある [パーソナルファイアウォール] タブをクリックします。
3. [パーソナルファイアウォール設定] をクリックします。
4. [パーソナルファイアウォールを有効にする] をクリックし、チェックマークを非表示にします。
5. [適用] をクリックします。

以上で設定は完了です。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター 2003 がインストールされている場合】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。

1. ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［トレンドマイクロウィルスバスター 2003］－［ウィルスバスター 2003 操作］を選択します。
2. 「ウィルスバスター 2003 操作画面」が起動したら、［プロフェッショナル］タブをクリックします。
3. 右側に表示されている［緊急ロック］ボタンをクリックし、「緊急ロックがオフになりました」と表示されることを確認して、［OK］をクリックします。
4. ［無線 LAN モード］ボタンに×印がついていることを確認します。×印がついていない場合は、［無線 LAN モード］ボタンをクリックして無線 LAN モードを OFF にしてください。
   ここまでの設定ができたら、「ウィルスバスター 2003 操作画面」を閉じます。
5. ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［トレンドマイクロウィルスバスター 2003］－［ウィルスバスター 2003 設定］を選択します。
   「LAN にプロキシサーバーを使用する」がチェックされていない場合は、設定完了です。
   チェックされている場合は、［詳細設定］をクリックして、手順 6 以降に進みます。
6. 「ウィルスバスター 2003 操作画面」が起動したら、［パーソナルファイアウォール］－［セキュリティレベル］内にある「パーソナルファイアウォールを有効にする」のチェックマークを外し、［適用］をクリックします。

以上で設定は完了です。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター 2002 がインストールされている場合】
「パーソナルファイアウォール機能」を無効にした状態でご利用になるか、手動設定で LinkStation の IP アドレスを「信頼するコンピュータ」として登録してください。詳細は、以下を参照してください。

[パーソナルファイアウォール機能を無効にする方法]
1. [スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [トレンドマイクロウィルスバスター 2002] ー [ウィルスバスター 2002 設定] を選択します。
※ウィルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウィルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。
2. ウィルスバスター 2002 操作画面内のクイック設定より、「パーソナルファイアウォール」のチェックマークを外し、[適用] をクリックします。

以上で設定は完了です。

[LinkStation の IP アドレスを登録する方法]
1. [スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [トレンドマイクロウィルスバスター 2002] ー [ウィルスバスター 2002 設定] を選択します。
※ウィルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウィルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。
2. ウィルスバスター 2002 の設定画面の左側のメニューから「パーソナルファイアウォール」ー「信頼するコンピュータ」を選択します。
3. 「信頼するコンピュータ」欄にネットワークアダプタが表示されますので、チェックを入れて [適用] をクリックします。

以上で設定は完了です。

【 Norton Internet Security 2004 がインストールされている場合】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
1. [スタート]-[(すべての) プログラム]-[Norton Internet Security Professional]-[Norton Internet Security Professional] を選択します。
2. [ファイアウォール] をクリックします。
3. [無効にする] をクリックします。

以上で設定は完了です。

LinkStation の共有フォルダにアクセスできない

・設定画面で共有フォルダのアクセス権を設定すると、許可したユーザからのみアクセスできるようになります。許可していないユーザをアクセスできるようにするには設定を変更してください。

・Windows のネットワークにログインしたユーザ名、パスワードが、LinkStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードと同一のものでないと共有フォルダにアクセスすることはできません。

・WindowsMe/98SE/98/95 をお使いの場合、ログオンするネットワークの設定がファミリーログオンになっていると共有フォルダにアクセスできません。そのようなときは次の手順でログオンするネットワークを設定してください。

1 [ネットワークコンピュータ] アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。

次のページへ続く

2 [優先的にログオンするネットワーク (Windows95 では「優先的にログオンする」)] から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] をクリックします。

※選択肢に「Microsoft ネットワーククライアント」が無い場合は、[追加] − [クライアント] − [Microsoft ネットワーククライアント] − [OK] をクリックしてください。Windows の CD-ROM が要求されるメッセージが表示されたら画面の指示に従って CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。

以上でログオンするネットワークの設定は完了です。

・WindowsXP/2000/NT4.0 をお使いの場合、ユーザ名とパスワードの入力を求める画面が表示されますが､入力しても共有フォルダにはアクセスできません。必ず､LinkStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードで Windows にログインしてください。

ここでは、ネットワークログイン名とパスワードの作成の手順を説明します。

< WindowsXP でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 [スタート]-[コントロールパネル] を選択します。

2 [ユーザーアカウント] アイコンをダブルクリックします。

3 [新しいアカウントを作成する] をクリックします。

4 [新しいアカウントの名前の入力] に、LinkStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

5 [コンピュータの管理者] を選択し、[アカウントの作成] をクリックします。

6 「変更するアカウントを選びます」から、新しく作成したアカウントをクリックします。

7 [パスワードを作成する] をクリックします。

8 [新しいパスワードの入力] に、LinkStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[パスワードを作成] をクリックします。

< Windows2000 でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。

2 [ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。

3 [追加] をクリックします。

4 [ユーザー名] に、LinkStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

5 [パスワード] に LinkStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

6 [標準ユーザー] を選択し、[完了] をクリックします。

< WindowsMe/98SE/98/95 でのユーザ名とパスワード設定 >

Windows 起動時の [ネットワークとパスワードの入力] 画面で、LinkStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

< WindowsNT4.0 でのユーザ名とパスワード設定 >

WindowsNT4.0 のユーザ登録を済ませている場合は、そのユーザ名とパスワードを LinkStation に設定してください。

ユーザー登録をまだしていない方は LinkStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを登録してください ([スタート]-[プログラム]-[管理ツール]-[(ドメイン) ユーザマネージャ])

< Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 でのユーザ名とパスワード設定 >

アップルメニューから [セレクタ]-[Apple Share]-[LinkStation の名称] を選択し、[接続] をクリックすると、登録利用者の名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
LinkStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

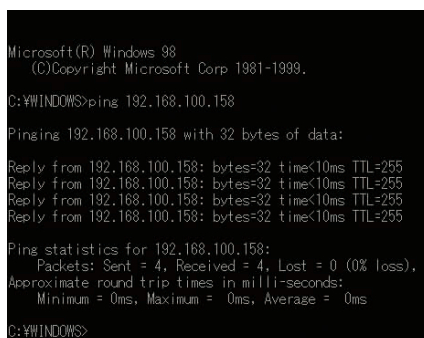
< Mac OS X でのユーザ名とパスワード設定 >

[移動]-[サーバへ接続 ...] で LinkStation の IP アドレスを設定後、[接続] をクリックすると、登録ユーザの名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
LinkStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

IP 設定ユーティリティで確認できても LinkStation が認識できない

LinkStation に割り当てられた IP アドレスによっては、IP 設定ユーティリティで LinkStation を確認できても使用できないことがあります。そのようなときは次の手順を行ってください。

1 **コマンドプロンプトの画面を表示させます。表示のさせ方は Windows によって異なります。**

WindowsXP/2000:[スタート]ー[(すべての)プログラム]ー[アクセサリ]ー[MS-DOSプロンプト]
WindowsMe：[スタート] ー [プログラム] ー [アクセサリ] ー [MS-DOS プロンプト]
Windows98/95:[スタート] ー [プログラム] ー [MS-DOS プロンプト]
WindowsNT4.0：[スタート] ー [プログラム] ー [コマンドプロンプト]

2 **コマンドプロンプトの画面 (C:¥WINDOWS> など) が表示されたら、「ping 192.168.11.150」を入力して、<Enter> キーを押します。**

※下線部は LinkStation の IP アドレスです。環境によって入力する値は異なります。P40 の手順 2 でメモをした IP アドレスを入力してください。

```
Microsoft(R) Windows 98
   (C)Copyright Microsoft Corp 1981-1999.

C:¥WINDOWS>ping 192.168.100.158

Pinging 192.168.100.158 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.100.158:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms

C:¥WINDOWS>
```

3 **正常に接続されているときは、「Reply from 192.168.11.150: byte=32 time=1ms TTL=255」等表示されます。**

「Reply from ～」と表示されないときは、P26 の手順で LinkStation の IP アドレスを変更してください。

コマンドプロンプトの画面を終了するときは、「exit」と入力して <Enter> キーを押します。

LinkStation に接続したプリンタから印刷できない (Windows)

双方向通信機能を使用した印刷方式には対応していません。使用しているプリンタの双方向通信機能を無効にしてください。

WindowsMe/98SE/98/95 の場合

1. [スタート] − [設定] − [プリンタ] を選択します。
2. [プリンタ] アイコンを選択し、[ファイル] − [プロパティ] を選択します。
3. [詳細] タブをクリックして、[スプールの設定] をクリックします。
4. 「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」にチェックをつけます。

WindowsXP の場合

1. [スタート] − [コントロールパネル] を選択します。
2. [プリンタとその他のハードウェア] をダブルクリックします。
3. [プリンタと FAX] をダブルクリックします。
4. [プリンタ] アイコンを選択して、[ファイル]-[プロパティ] を選択つけます。
5. [詳細] タブをクリックして、[スプールの設定] をクリックします。
6. 「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」にチェックをつけます。

WindowsNT4.0 の場合

1. [スタート] − [設定] − [プリンタ] を選択します。
2. [プリンタ] アイコンを選択し、[ファイル] − [プロパティ] を選択します。
3. [ポート] タブをクリックして、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。

LinkStation に接続したプリンタから印刷できない

LinkStation に内蔵のハードディスクをプリンタスプール領域として使用しています。ハードディスクの空き容量が印刷バッファデータより少ないとスプール機能が働かず印刷できないことがあります。このようなときは、データを整理して空き容量を確保してください。

プリンタが認識できない

P39[プリンタ共有機能] の設定が「使用する」になっていないと LinkStation に接続したプリンタは認識されません。「使用しない」に設定されていたときは、「使用する」を選択し、[設定] をクリックしてください。

印刷した画像が横方向に長くなる (Macintosh)

Mac OS から PostScript 非対応モノクロプリンタにカラー画像を印刷した場合、画像が横方向に長くなることがあります。このようなときは、プリンタ設定 (カラーマッチング設定) でカラー指定を [Color Sync カラーマッチング] または [白黒] に設定してください。

プリンタのステータスが取得できない

LinkStation は双方向通信に対応していないため、プリンタのステータス (インク残量など) は取得できません。

共有フォルダのデータを削除しても容量が変わらない

LinkStation の共有フォルダにゴミ箱機能が有効に設定されていると、削除したデータは共有フォルダの [.trash] フォルダに移動されます。【P59】

共有フォルダのゴミ箱のデータを消去したい

ゴミ箱 [.trash] フォルダのデータを選択し、<Delete> キーを押すと消去されます。
[.trash] フォルダは隠しファイルとして設定されています。隠しファイルを表示するには、次の手順例を参考にしてください。

1 エクスプローラーのメニューから [ツール]-[フォルダオプション] を選択します。
2 [表示] タブをクリックします。
3 [詳細設定] 項目の中から [ファイルおよびフォルダ]-[ファイルとフォルダの表示]-[すべてのファイルとフォルダを表示する] を選択し、[OK] をクリックします。

※ WindowsXP の表示例です。OS によって表示は異なります。

Microsoft ネットワークドメインに新たに登録したユーザ名で LinkStation にアクセスできない

Microsoft ネットワークドメインに新たに登録したユーザ名で LinkStation にアクセスするには、LinkStation の設定を再度行う必要があります。
P44 に記載の LinkStation の設定画面で、[ドメイン名]/[PDC ホスト名] を入力し、[設定] をクリックしてください。

LinkStation をドメインでネットワークに参加させることができない (Windows Server 2003)

LinkStation は SMB パケットのデジタル署名に対応しておりません。PDC の Guest アカウントが無効の場合、LinkStation をドメインに参加させることができません。ドメインに参加させるには次の方法があります。

・PDC の Guest アカウントを有効にする
・PDC のレジストリの記述「¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥lanmanserver¥parameters」の「requiresecuritysignature」値を 0 に変更する

LinkStation の名称を変更したらドメインでネットワークに参加できなくなった

LinkStation の名称を変更するとドメインでネットワークに参加できなくなります。変更したときは、再度次の手順でドメインを再設定してください。

1 変更した名称と同じコンピュータアカウントを PDC に登録します。
2 LinkStation の設定画面 (P44) でネットワーク参加方法 (ドメイン)、ドメイン名、PDC ホスト名を再度設定します。

「PDC によるアクセス認証は現在無効です」と表示される

LinkStation と PDC 間でドメインに関する通信が正しく行えていません。次の手順でドメインを再設定してください。

1 LinkStation の名称と同じコンピュータアカウントを PDC から削除します。
2 LinkStation の名称と同じコンピュータアカウントを PDC に再登録します。
3 LinkStation の設定画面 (P44) でネットワーク参加方法 (ドメイン)、ドメイン名、PDC ホスト名を再度設定します。

FTP フォルダにアップロードしたデータが壊れている

・お使いのパソコンによっては、FTP クライアントソフトウェアの通信設定で、[バイナリーモード] にしておかないと、アップロードしたデータから改行コードが削除されることがあります。
・お使いの OS によっては日本語のファイル名が正常に表示されないことがあります。

NTP 機能が使用できない

ネットワークが外部に接続されていない可能性があります。外部の NTP サーバにアクセスできる環境が必要です。また、Proxy サーバ経由で外部にアクセスするようなネットワーク環境では、外部の NTP サーバにアクセスできないため NTP 機能を使用することはできません。

用語集

AFP(Apple Filing Protocol)

AppleTalk によるネットワークで、ファイル共有を実現する AppleShare で利用されるプロトコルの名称。

AppleShare

Apple 社純正のファイルサーバ機能や、ファイルおよびアプリケーションの共有機能を提供するネットワーク用ソフトウェア。

AppleTalk

Mac OS に標準搭載のネットワーク機能。ファイル共有やプリンタ共有などのサービスを提供する。

DHCP サーバ

DHCP サーバはネットワークに関連した情報（IP アドレス、デフォルト・ルータの IP アドレス、ドメイン名など）を管理する。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報を割り振る。DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや AirStation に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなる。

DNS

コンピュータ名やドメイン名 を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステム。

FTP(File Transfer Protocol)

TCP/IP で構成されたネットワークでファイルを転送するために使われるプロトコル。FTP クライアントソフトウェアを使用して転送を行う。OS の種類に関係なく転送ができます。

IP アドレス

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレス。各コンピュータの住所を示す整理番号のようなもの。ネットワーク機器の IP アドレスが重複していると正常に認識されない。

Jumbo Frame

一回で転送できる LAN 上のデータサイズを従来の 1518bytes から Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) に拡張して転送速度を向上させることができます。

MAC アドレス

ネットワークカードごとの固有の物理アドレス。先頭からの 3bytes のベンダコード（メーカーの ID）と、残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成される。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行う。

NTP(Network Time Protcol)

ネットワークを通じて時刻修正を行うプロトコル。定期的に NTP サーバの時刻と同期させて修正を行います。

PDC(Primary Domain Controller)

ログオンの認証および Microsoft ネットワークドメインのユーザやセキュリティを管理するサーバ。

SMB(Server Message Block)

ファイル共有やプリンタ共有のサービスを提供するプロトコル。

TCP/IP

ネットワークを構築する際のプロトコル (通信規約) の一つ。TCP プロトコル (データ分割および誤り検出) と IP プロトコル (宛先や発信元 IP アドレスの付与) を組み合わせたもの。

WINS

WindowsNT ネームサーバ機能。Windows ネットワーク環境でホスト名やドメイン名を IP アドレスに自動的に割り当てる。

ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェア。パケットが LAN の外に出て行くときに通過する。

サブネットマスク

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値。ルータがパケットを送受信するために用いる。

ジャーナリングファイルシステム

ディスクに障害が発生した場合にすぐ復旧できるよう、ファイル更新履歴のバックアップをとっておく機能を持ったファイルシステム。

ドメイン

WindowsXP/2000/NT を基盤としたネットワークにおいて、複数のコンピュータを論理的に 1 つにまとめたグループ。

ネイティブモード

Windows2000Server/2003Server での ActiveDirectry の操作モードの一つ。
LinkStation や Windows2000 以前のパソコンはネイティブモードに対応しておりません。
混在モードでご使用ください。

ファイアウォール

ネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐ機能。WindowsXP や一部のウィルス対策ソフト (トレンドマイクロ社ウィルスバスターなど) に付属している。

ワークグループ

小規模な Windows ネットワークに存在するグループ。大規模な運用には向かない。ワークグループ内でファイルやプリンタの共有を行なうことができる。Microsoft は、Windows にこのワークグループネットワーク機能を標準で搭載している。